

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																								
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																								
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力はぐくむ		()																								
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	教育指導奨励費																											
事業コード	002-001-002-00237	事 業 名	小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																												
目的及び事業内容	<p>小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、県大会以上の大会へ出場する際の交通費の一部助成等により保護者負担を軽減する。</p> <p>・補助金の交付（平成23年度から文化活動と体育活動を一体化）</p> <p>・平成29年度から、県大会及び東北大会50%、全国大会70%だった補助率を75%に改定</p>																														
取組実績	<p>補助金の交付</p> <p>音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し、交通費の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会参加回数 9回（7校） ・東北大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 780,790円 <p>体育活動県大会以上に参加した中学校に対し、交通費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県大会参加回数 33回（16校） ・東北大会参加回数 14回（11校） ・全国大会参加回数 7回（5校） ・補助金交付額 6,143,009円 																														
成 果	音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>6校（10件）</td> <td>6校（12件）</td> <td>7校（10件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>934,491円</td> <td>1,298,906円</td> <td>780,790円</td> </tr> </tbody> </table> <p>体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>19校（69件）</td> <td>20校（62件）</td> <td>16校（54件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>4,424,962円</td> <td>3,504,480円</td> <td>6,143,009円</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H27	H28	H29	補助対象校（補助件数）	6校（10件）	6校（12件）	7校（10件）	補助金交付額	934,491円	1,298,906円	780,790円	主な指標項目	H27	H28	H29	補助対象校（補助件数）	19校（69件）	20校（62件）	16校（54件）	補助金交付額	4,424,962円	3,504,480円
主な指標項目	H27	H28	H29																												
補助対象校（補助件数）	6校（10件）	6校（12件）	7校（10件）																												
補助金交付額	934,491円	1,298,906円	780,790円																												
主な指標項目	H27	H28	H29																												
補助対象校（補助件数）	19校（69件）	20校（62件）	16校（54件）																												
補助金交付額	4,424,962円	3,504,480円	6,143,009円																												
成果に係る評価	<p>平成29年度に県大会及び東北大会50%、全国大会70%であった補助率を見直し75%としたことで、保護者の負担をより軽減し、文化活動及び体育活動の充実を図ることができた。</p> <p>貸切バスの運賃・料金制度の改定により、生徒輸送に不可欠な貸切バスの借上料が値上がりし、保護者の負担が大きくなっている状況にある。さらに、消費税率の引き上げによる負担の増が見込まれることから、今後も継続して本事業を実施する必要がある。</p>																														
（単位：円）																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	8,000,000	6,923,799				6,923,799																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																	
実施計画掲載ページ		P 24	中 事 業	奨学金資金費																				
事業コード	002-001-003-00230	事 業 名	奨学金貸与事業																					
目的及び事業内容	<p>石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学費を貸与し、有能な人材の育成を図る。</p> <p>・奨学金の貸与・償還</p>																							
取組実績	<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で28名の新規採用者を決定した。 （※1名辞退、実貸与者数27名） 平成27年度より大学生、専修学校専門課程、高等専門学校第4学年以上の貸与額を35,000円から45,000円に変更した。</p> <p>(2) 貸与区分（月額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高校在学</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td>第3学年まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>第4学年以上</td> <td>45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td>45,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 貸与者数 80名 (4) 貸与金額 39,000,000円</p>								区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	第3学年まで	15,000円	第4学年以上	45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）	45,000円		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																					
高校在学	15,000円	第3学年まで	15,000円																					
		第4学年以上	45,000円																					
大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）	45,000円																					
成 果	<p>有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）</td> <td>63名（30名）</td> <td>77名（28名）</td> <td>80名（27名）</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>24,790,000円</td> <td>34,020,000円</td> <td>39,000,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>57,349,100円</td> <td>64,318,600円</td> <td>66,779,000円</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H27	H28	H29	奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）	63名（30名）	77名（28名）	80名（27名）	貸与金額	24,790,000円	34,020,000円	39,000,000円	滞納額	57,349,100円	64,318,600円	66,779,000円
主な指標項目	H27	H28	H29																					
奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）	63名（30名）	77名（28名）	80名（27名）																					
貸与金額	24,790,000円	34,020,000円	39,000,000円																					
滞納額	57,349,100円	64,318,600円	66,779,000円																					
成果に係る評価	<p>平成27年度から大学生等の貸与額を増額したことにより、増額以前より新規貸与者が増えており、奨学金の貸与を希望する生徒及び学生のニーズに対応できたと考えられる。今後も市報、ホームページへの掲載、管内学校への通知など、利用者を増やすための施策を実施していくこととする。</p> <p>償還については、滞納額の増加に対し、相手の状況に配慮しながら効果的な滞納対策に努める。</p>																							
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	41,787,000	41,538,335				39,000,000 2,538,335																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																					
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																					
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																					
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																								
事業コード		002-001-002-00235	事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																								
目的及び事業内容		<p>いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会の実施 2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会、講演会の実施 3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 4 「S t o p いじめ！石巻市子どもサミット」の実施</p>																										
取組実績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会 市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会の実施 (1) 生徒指導上の基本である学級づくり、人間関係づくりについての講演会を市内教職員・保護者を対象に実施した。 (2) いじめ問題の根幹にかかわる人権について、市内教職員・保護者を対象に弁護士を招いて講演会を開催した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 いじめ防止標語（小・中・高）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「S t o p いじめ！石巻市子どもサミット」は、市内全中学校の代表が参加し、いじめの防止について話し合いを行った。</p> <p>5 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事案が起きた際の対応検討等を行った。</p>																										
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>いじめの件数</th> <th>解消件数</th> <th>解消率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>230件</td> <td>189件</td> <td>82.2%</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>103件</td> <td>69件</td> <td>67.0%</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>334件</td> <td>259件</td> <td>77.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記は文部科学省実施の平成29年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p>							区 分	いじめの件数	解消件数	解消率	小 学 校	230件	189件	82.2%	中 学 校	103件	69件	67.0%	高 校	1件	1件	100.0%	計	334件	259件	77.5%
区 分	いじめの件数	解消件数	解消率																									
小 学 校	230件	189件	82.2%																									
中 学 校	103件	69件	67.0%																									
高 校	1件	1件	100.0%																									
計	334件	259件	77.5%																									
成果に係る評価		<p>いじめの認知件数については各学校において、意識を高くして児童生徒の見守りをし、組織的に早期発見、早期解決に向けて取り組んだ成果であると捉えている。また、解消率の低下については、安易に解決することなく、長期的に丁寧な見守りと指導を継続している結果であると捉える。今後も、未然防止に向けての取組が必要であり、いじめについては積極的に認知し、学校をあげて組織的に解決、解消に努めることが大切である。ネットトラブル等、目に見えにくい問題も懸念される。児童生徒同士の人間関係づくり（石巻市子どもの未来づくり事業の取組）や日ごろの道徳の時間の指導に重点を置き、学校のすべての活動において道徳教育の充実と全力で取り組むよう各学校に働き掛ける。また、これまで以上に教員のもつアンテナを高くしながら、子どもたちの様子等を把握していく必要がある。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	3,120,000	535,328	38,000			497,328																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()											
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()											
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()											
実施計画掲載ページ		P34	中 事 業	外国青年英語指導費														
事業コード		002-003-001-00225	事 業 名	国際理解教育推進事業														
目的及び事業内容		<p>幼稚園、小・中学校及び高等学校におけるALT（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。</p> <p>1 市立中学校、高等学校における外国語教育の充実 2 市立小学校における外国語活動の充実 3 市立幼稚園、こども園、けやき教室における国際理解教育の推進</p>																
取組実績		<p>1 市立中学校・高等学校 市立全ての幼・小・中・高を12のブロックに分け、それぞれに1名ずつALTを配置し、中学校、高校に年間約120日派遣した。一学級のALT配置率は平均約30%で、概ね4時間に1回の割合で英語教員とのTTが行われた。 3名のJET-ALTと9名の民間ALT（業務委託）を配置しており、JETプログラムのALTについては、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場でも生徒と積極的に接した。また、学校での業務のほか、広域行政事務組合「おにぎり大使派遣事業」の英語事前研修の講師、地域振興事業に参加することなどで、広く地域の国際理解や国際交流に寄与している。</p> <p>2 市立小学校 5・6年生で行われている外国語活動の時間に合わせて週1回程度配置し、担任教師と連携しながら、児童が楽しみながらコミュニケーション能力の素地を養えるよう活動を行った。学校の学級数により差があるため、一学級のALT配置率は平均約40%となっている。</p> <p>3 市立幼稚園・けやき教室 月1回程度の配置で、英語を使った活動等を行い、国際理解教育の充実を図った。</p> <p>※JETプログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下に実施。</p>																
成 果		<p>ALTを中学校、高等学校を中心に小学校・幼稚園・こども園・けやき教室に配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。引き続き概ね高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対するモチベーションを高めることに大いに貢献している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）</td> <td>79.9%</td> <td>81.3%</td> <td>82.9%</td> <td>78.1%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H26	H27	H28	H29	ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	79.9%	81.3%	82.9%	78.1%
主な指標項目	H26	H27	H28	H29														
ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	79.9%	81.3%	82.9%	78.1%														
成果に係る評価		<p>毎回の授業にALTが配置されることが望ましく、次期学習指導要領改訂による小学校高学年の英語の教科化と中学年の外国語活動実施を見据え、適切な配置が可能となるよう段階的にALTを増員するとともに、小学校の学級数に応じた配置を進めていく。</p> <p>また、子どもたちが言葉や表現、文化の違いに触れ、外国の様々な文化や習慣への関心が高まるような働きかけができるよう、TT（ティームティーチング）による授業の改善をすすめ、国際理解教育の充実を図っていく。</p>																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	55,287,540	54,224,464				54,224,464												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	子どもの未来づくり事業費				
事業コード		002-001-002-00232	事 業 名	石巻・子どもの未来づくり事業				
目的及び事業内容		<p>石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の定着と向上を通じ、未来を生きる力の育成を図る。</p> <p>1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 「教師の指導力の向上」、「児童生徒の学習習慣の形成」、「志を高める取組を小中連携により充実」の具体的方策について検討し、事業を行う。</p> <p>2 小・中学校長会との連携 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践する。</p> <p>3 子どもの未来づくり推進地区連絡協議会の設置 各地区の取組内容について情報交換し、より効果的な方策を検討する。</p>						
取組実績		<p>1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組 (1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働きかけた。 (2) 子どもの未来づくりフォーラムを1回、子どもの未来づくり講演会・実践報告会を1回実施し、児童生徒、保護者、教員がともに話し合い、意識を高めた。 (3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。 (4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果を「事業報告書、実践事例集」にまとめ活用を図った。 (5) 志を強くもって生き抜くための具体的な実践として、小・中学校が連携して運動会（体育祭）や体験活動の交流会等を実施した。</p> <p>2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組 (1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。 (2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合い、講演会や研修会を実施した。 (3) 実践成果発表会において、各地区の取組みについて発表し、情報を共有した。</p> <p>3 教師の指導力向上、学習指導の改善を図る取組 (1) 推進モデル校を定め、大学教授を招いての学習指導の改善を図る研修会を14回実施した。</p>						
成 果		<p>1 各地区の小学校和中学校が合同で研修会や授業研究会を実施し、小・中連携の推進が図られた。 2 地区の特性に合致した、専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。 3 家庭学習カードなどを各地区や中学校区ごとに工夫し、活用を通して、学校と家庭が連携する必要性について各地区全体で啓発が図られた。 4 それぞれ工夫し、被災によって連携事業が困難となった学校でも連携を行った。 5 学習指導の改善を図る研修会に基づく取組みは、市内の全ての小・中学校において行われた。</p>						
成果に係る評価		<p>年14回実施した「学習指導の改善を図る研修会」の内容に応じた取組みが各校や各中学校区で実践され、各推進地区内におけるほとんどの小・中学校で、教員が互いに授業参観や授業検討会等を実施しており、教師の指導力の向上が図られた。また、児童生徒の学習習慣の形成についても、家庭学習カードの活用やリーフレット「5つのトライ」を配布した結果、小中9年間を見通して実践を行う地区も増え、小学校高学年、中学校1・2年生に対する調査でも、家庭学習の定着が見られるようになった。 しかし、取組時間や質については各学校、各地区ごとにばらつきがあることから、子どもの未来づくりフォーラムや実践報告会において、成果があった取組みを共有し、本事業について更に啓発して充実した実践に結びつける必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,200,000	4,584,672			1,000,000	3,584,672		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																	
実施計画掲載ページ		P20	中 事 業	適応指導教室運営費																				
事業コード		002-001-002-00227	事 業 名	適応指導教室運営事業																				
目的及び事業内容		<p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																						
取組実績		<p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。 2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒一人ひとりの実態や学年を踏まえ、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成が図られた。 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、清掃活動等の体験活動を通して仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。</p>																						
成 果		<p>適応指導教室における個に応じた学習支援により、学習することの楽しさや自己有用感を味わい、自信をもつことができた児童生徒がいた。特に中学3年生は「進学」という明確な目標ができ、積極的に学習に取り組めた。また、親身な教育相談活動や充実した体験活動により、対人関係の苦手意識を少しずつ克服することができた児童生徒がいた。さらに、保護者や学校との連携を密にすることにより、児童生徒の再登校の意欲を高め、前年度より部分登校した生徒が増え、再登校（学校復帰）を果たした生徒もいた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>31件</td> <td>75件</td> <td>89件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>0.0%</td> <td>14.3%</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)</td> <td>22.2%</td> <td>57.1%</td> <td>75.0%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H27	H28	H29	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	31件	75件	89件	通所児童生徒の再登校率	0.0%	14.3%	12.5%	通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	22.2%	57.1%	75.0%
主な指標項目	H27	H28	H29																					
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	31件	75件	89件																					
通所児童生徒の再登校率	0.0%	14.3%	12.5%																					
通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	22.2%	57.1%	75.0%																					
成果に係る評価		<p>県教委が実施する「みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業」の採択を受けて2年目となり、「石巻市子どものサポートハウス」が周知され、昨年度に比べ更に相談件数が増加した。また、適応指導教室に通所してきた児童生徒の中には、部分登校や再登校までこぎつけた児童生徒も増加し、支援の効果が表れている。一方で、適応指導教室との相談や体験通所にまでつなげることが難しい状況の不登校児童生徒も多く、さらには、適応指導教室に通所することで満足してしまっているような児童生徒や保護者もいると考える。心のサポーターによる訪問支援など、きめ細やかな支援の強化と共に、適応指導教室に通所することが目的ではなく、学校復帰のための一手段として効果的に利用できることを、不登校で悩んでいる児童生徒や保護者に対し、広く周知することが必要である。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	5,550,000	5,201,597			108,000	5,093,597																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 21	中 事 業	特別支援教育事業費				
事業コード		002-001-002-00228	事 業 名	特別支援教育支援員配置事業				
目的及び事業内容		<p>通常の学級に在籍している発達障害がある児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <p>1 小中学校への支援員の配置 2 当該児童生徒への支援の工夫</p>						
取組実績		<p>1 支援員の配置状況 市内小・中学校 31校に79人配置（平成26年度 31校 55人、平成27年度 28校 55人、平成28年度 30校 76人） 石巻小、住吉小、湊小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川小、大谷地小、広瀬小、須江小、北村小、前谷地小、和瀬小、鹿又小、中津山第一小、中津山第二小、桃生小、北上小、湊中、蛇田中、万石浦中、桃生中</p> <p>2 通常の学級における当該児童生徒への支援 配置された支援員は、通常の学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙等の子どもたちへの学習・生活支援を行うとともに、担任教員の指導を補助している。各学校では、日常的に打合せをもったり、学級や個人への支援のあり方について研修したりするなどして、支援員の意識の強化やスキルの向上を図り、支援体制の充実につなげている。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 支援員を対象に、東松島市立宮野森小学校教諭を講師として招聘し、「ちょっとだけ～発達障害の特性と支援のあり方～」という演題で研修会を開催した。また、分科会に分かれて、児童生徒への日常支援の様子や勤務上の悩み等について情報交換を行った。</p>						
成 果		<p>年々、通常学級に在籍する発達障害等の支援を要する児童生徒数が増加し、各校においては、より細やかな支援の実現に向け、校内体制の充実に向けて努めている。そうした中、特別支援教育支援員の存在は大きく、学校組織において大きな役割を果たしている。具体的には、支援員配置校において、配慮を要する児童生徒の実態に応じた学習・生活指導を進めることが可能となり、個々の能力の伸長が図られた。さらに、当該児童生徒のみならず、周囲の子どもたちの成長を促すことにもつながった。こうした効果により、担任等教職員からは、支援員配置を望む声が多く寄せられている。同様に、保護者からの、支援員の継続的な配置や新規支援員の配置に関する要望も増加傾向にある。</p> <p>研修会の実施により、支援員としての職責の意識化や、支援に向けてのスキルの向上が図られた。さらに、支援員相互の情報交換を行ったことで、職務への意欲の喚起やネットワークづくりを進めることができた。</p>						
成果に係る評価		<p>インクルーシブ教育システムの一層の推進が求められる中、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒の「共に学ぶ」機会を支える特別支援教育支援員の果たすべき役割は大きい。通常学級に在籍する障害のある児童生徒は、支援員のサポートを受け、自己の能力の育成を図るとともに、周囲の子どもたちとの交流の機会を保障され、相互にかかわることの喜びや心地よさを感じながら、社会性を身に付けていくことができる。一方、障害のない児童生徒も、「共に学ぶ」ことから、障害に関する理解や自己・他者理解を深めることができる。</p> <p>本市における特別支援教育支援員配置事業では、そうした成果を得ることにつながっており、子どもたちに将来の共生社会を築く素地を形成するための重要な事業と位置付けられる。実際、学校現場や保護者からも本事業の拡充を望む声が多く寄せられている現状も認められ、今後も、支援員配置人数の拡充や質的な向上を目指していく必要がある。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	82,579,180		80,151,066					80,151,066

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																			
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																			
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																			
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	定住外国人就学支援事業費																						
事業コード		002-001-002-00238	事 業 名	定住外国人就学支援事業																						
目的及び事業内容		<p>石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。</p>																								
取組実績		<p>支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる外国人支援員（パート職員）を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td> <td>8人（8校）</td> <td>4人（4校）</td> <td>6人（5校）</td> <td>7人（6校）</td> <td>7人（6校）</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>7人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> </tr> </table> <p>支援を必要とする児童生徒の母語は、タガログ語、ベンガル語、モンゴル語である。 ベンガル語、モンゴル語に対応できる人材が見つからないため、ベンガル語には英語による支援を行い、モンゴル語へは校内の教職員の指導体制の工夫により対応した。</p>							主な指標項目	H25	H26	H27	H28	H29	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	8人（8校）	4人（4校）	6人（5校）	7人（6校）	7人（6校）	配置した支援員数	7人	4人	6人	6人	5人
主な指標項目	H25	H26	H27	H28	H29																					
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	8人（8校）	4人（4校）	6人（5校）	7人（6校）	7人（6校）																					
配置した支援員数	7人	4人	6人	6人	5人																					
成 果		<p>平成29年度は、市立小・中学校5校の5人の児童生徒に対し、支援員5人を配置して学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、併せて当該学校や担当教師への支援の役割も担った。転入により、年度途中で新たに配置希望をするケースがあるので、支援員の安定した確保が必要である。</p>																								
成果に係る評価		<p>児童生徒の母語に対応できず、英語に対応したケースや、必要とする支援員が見つからず配置できなかったために他機関による短期間派遣のサポート事業に頼らざるを得ない状況があった。今後も事業を継続し、児童生徒や学校のニーズに応えられるような支援員配置をする必要がある。</p>																								
（単位：円）																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	3,110,000		2,881,800					2,881,800																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()										
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()										
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()										
実施計画掲載ページ		P22	中 事 業	学校図書館担当配置事業費													
事業コード		002-001-002-01076	事 業 名	学校図書館担当職員配置事業													
目的及び事業内容		<p>各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資する。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施</p>															
取組実績		<p>平成28年度から学校司書のモデル配置を開始。平成29年度は担当職員（学校司書）、配置校数を拡大し配置を行った。</p> <p>1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>学 校 数</td> <td>6 (小4・中2)</td> <td>12 (小8・中4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施 石巻市図書館司書及び外部講師等を指導者とし、研修日を設定して実施 内容：初任者研修1回（4日間）、図書の配架・書架整理の実技研修、情報交換3回（各1日）等</p>							年 度	H28	H29	人 数	3	6	学 校 数	6 (小4・中2)	12 (小8・中4)
年 度	H28	H29															
人 数	3	6															
学 校 数	6 (小4・中2)	12 (小8・中4)															
成 果		<p>学校図書館に対し求められる3つの役割「①読書活動の拠点となること（読書センター）」「②授業に役立つ資料を備え学習支援を行うこと（学習センター）」「③情報活用能力をはぐくむこと（情報センター）」が十分に果たせるよう、学校図書館の整理や絵本の読み聞かせ、調べ学習のコーディネーター役などをこなし、学校図書館の利活用の向上に繋がった。</p> <p>■図書貸出実績（H28から配置の6校分合計） H28 19,328 冊 H29 34,731 冊</p>															
成果に係る評価		<p>未整理だった図書の分類整理ができたことで、図書館機能が向上し雰囲気も明るくなり（レイアウトの変更、推奨本コーナーの設置、バーコード機能の導入等）、児童生徒の利用者数や貸出し数が増加した。今後も学校司書の能力の向上を図るとともに配置校の拡大に努める。</p>															
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	6,944,000	6,389,792				6,389,792											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	教育総務費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	3 目	教育指導奨励費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P34	中 事 業	サイエンスラボ事業費				
事業コード		002-003-001-01138	事 業 名	サイエンスラボ事業				
目的及び事業内容		<p>児童生徒が科学への興味・関心を持ち、自ら自然を調べようとする態度や能力の育成を目指すとともに、教員の理科指導力の向上、石巻市の理科教育の充実を図る。</p> <p>1 科学巡回教室の実施 2 教材・教具の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 「親と子の科学教室」の実施 5 企業や研究機関との連携</p>						
取組実績		<p>1 科学巡回教室の実施 「原子・分子の学習」、「宇宙の学習」、「科学実験」、「ものづくり」等を行い、市内25小学校、3中学校、1幼稚園、1こども園、市外1小学校で実施した。</p> <p>2 教材・教具の開発及び教員への提供 平成28年度に引き続き、原子・分子の模型の作製や今年度の新プログラムとして太陽系の惑星の大きさを示す模型の作製を行い科学巡回教室で活用した。メダカの飼育にも取り組み、その卵を希望する小・中学校に提供した。</p> <p>3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換等を行った。また、「分子模型作製研修会」を実施し、教師の希望により基礎コース・発展コースに分かれ、分子模型作製を行った。</p> <p>4 「親と子の科学教室」の実施 生涯学習課「まちなか実験室」と連携し、3小学校において「原子・分子の学習」「宇宙の学習」を実施した。</p> <p>5 企業や研究機関との連携 (1) パナソニック㈱ 6小学校でLED工作教室を実施した。 (2) JAMSTEC（海洋研究開発機構）：河川港湾室との連携による。 市内3中学校でJAMSTEC出前授業を実施した。また、市内の理科教員を中心に、港湾感謝祭における「地球深部探査船『ちきゅう』」の見学を呼び掛けた。</p>						
成 果		<p>1 市内小学校に加え、中学校、幼稚園、こども園についても幅広く科学巡回教室を開催した。小中学生に限らず、幼児にも楽しく分かりやすく伝えることができた。</p> <p>2 原子・分子の模型は、子どもたちにその世界をイメージさせるのに有効であった。</p> <p>3 太陽系の惑星の大きさを実物に例えた模型は、地球との距離をイメージさせるのに役立った。</p> <p>4 今年度より「分子模型作製研修会」を基礎コースと発展コースに分けて実施したことで、教員にとって授業に生かすことができる教材作製ができ、深みのある研修となった。</p> <p>5 科学巡回教室の発展型として、10種類の分子の模型作りを行った。説明書付きのケースに入れて持ち帰れるという特典もあり、製作活動を通して空気中の分子に対する理解を深めることができた。</p> <p>6 LED工作教室では、希望する学校が増え、オリジナルランプづくりを通して、ものづくりの楽しさを実感するとともに、環境への意識を高めることができた。また、JAMSTEC出前授業では、専門の研究員が講師を務め、地球深部の構造や深海の様子、地震のメカニズム等について、理解を深めることができた。</p>						
成果に係る評価		<p>○本事業2年目となり、その趣旨や内容が各学校や関係機関に浸透し、各方面での活用が図られた。科学巡回教室では、小学校に加え、中学校や幼稚園・こども園で実施された。今後も内容やプログラムを検討・充実させていく必要がある。</p> <p>○2人のサイエンススーパーバイザーの体制で見通しを持って業務に従事できるようになった。教材教具の開発や教員への相談活動、研修会の実施については、平成30年度以降も一層の充実に向けていく。</p> <p>○企業や関係機関、また、他課・室との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。今後も継続して連携し、子どもたちに科学や自然の魅力を伝えるとともに、理科教育の充実を目指す取組を展開していく。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	6,080,000	5,151,044			500,000	4,651,044		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	()																	
	1 項	教育総務費		第 節		()																	
	7 目	東日本大震災関係費		()		()																	
実施計画掲載ページ		中 事 業		学び支援コーディネーター等配置事業費																			
事業コード		事 業 名		学び支援コーディネーター等配置事業																			
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や仮設住宅居住など環境が変化し、教育環境、特に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い、児童生徒に基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。</p> <p>1 地域に必要な学習の場をコーディネートする「学び支援コーディネーター」の配置 2 児童生徒の学習支援や保護者の学習相談等に携わる「学び相談員」「学び支援員」の配置 3 長期休業中と平日の放課後の学習支援のために学習の場・機会の提供</p>																					
取 組 実 績		<p>1 「夏休み学び教室」の開催 【会場：宮城県石巻工業高等学校】 (1) 開催日時 平成29年8月7日～9日 17日～18日 小学生：9:30～12:00 中学生：13:00～15:30 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。 ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。</p> <p>2 「放課後学び教室」の開催 【会場：市内各小中学校の教室等】 (1) 開催日時 平成29年5月下旬～平成30年2月末 15:00～17:00 ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。 (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生 (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。 ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。</p>																					
成 果		<p>1 家庭学習が思うようにできないという児童生徒や保護者の思いに応えることができた。 <夏休み学び教室> 実施回数： 8回（小学生 4回、中学生 4回） ※台風の影響で8月8日は中止 参加者数： 215名（小学生 143名、中学生 72名 延べ人数） 学び相談員・支援員：142名 高校生ボランティア：18名（延べ人数） <放課後学び教室> 実施回数： 1,240回（小学生 980回、中学生 260回） 参加者数：25,107名（小学生 21,662名、中学生 3,445名 延べ人数） 学び相談員・支援員：2,678名（延べ人数）</p> <p>2 夏休み学び教室は、参加した多くの児童生徒とその保護者に好評であり、「分かりやすく教えてもらってよかった」「苦手な所ができるようになり、嬉しかった」「来年も参加したい」などという声が多く寄せられた。また、大学生の学び支援員や地元高校生のボランティアが参加したことで、児童生徒は気軽に質問などをしながら、意欲的に学習している姿が見られた。</p> <p>3 家庭では十分に学習できなかった児童生徒も、放課後学び教室に参加することで学習習慣が身に付き、学習への自信と意欲が身になってきている。アンケートでは参加した児童生徒のうち、8割以上が「勉強する習慣が身についた」「進んで勉強するようになった」と肯定的な回答をしている。</p> <p>4 学び相談員や支援員が児童生徒一人一人を褒めて温かく学習を見守り、困っている時には適切に対応したことで、児童生徒の自己肯定感を高めた。</p> <p>5 放課後学び教室は、小学校19校、中学校10校で開設した。昨年度との比較では、小学校が2校増、中学校が2校増である。保護者アンケートや学校からの報告では、次年度以降も開催を希望する声、継続を希望する声が多数寄せられている。</p>																					
成果に係る評価		<p>児童生徒アンケートや保護者アンケート、学校からの報告等からは、本事業が適切かつ効果的に実施され、成果を上げていることが読み取れた。今後も、本事業の趣旨を踏まえて実施することで、学校や児童生徒、保護者の要望や期待に応えることができるものとする。</p> <p>夏休み学び教室は、送迎等の課題があり参加を見送るケースもある。それを補う形で地区や学校において「夏休み学習会」が開催されている。平成29年度は1地区7小学校4中学校で開催された。平成28年度と比較すると中学校で2校増となっており、開催校が増加している。</p> <p>課題となっていたへき地校への相談員の配置については、希望があった学校すべてに配置することができた。また、児童生徒の参加者が多い学校については、複数の相談員を配置するようにし、約10名の児童生徒に対して1名の相談員という割合を基本にした。今後も相談員の確保や適切な配置は大きな課題となるが、市報による広報、相談員同士のネットワーク、学び支援コーディネーターによるアプローチ、各校による相談員の確保等、様々な手段を講じていく。</p>																					
予算の執行状況		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">予算額</td> <td rowspan="2">決算額</td> <td colspan="4">決算額の財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国(県)支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>9,486,000</td> <td>7,631,156</td> <td>7,631,000</td> <td></td> <td></td> <td>156</td> </tr> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	9,486,000	7,631,156	7,631,000			156
予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
9,486,000	7,631,156	7,631,000			156																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																							
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる																							
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施																							
実施計画掲載ページ		P207		中 事 業	スクールカウンセラー配置事業費																									
事業コード		004-103-002-00525		事 業 名	スクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																									
目的及び事業内容		<p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																												
取 組 実 績		<p>1 スクールカウンセラーの配置（任用は宮城県） 定期の配置のほか、相談ケースの状況に応じた追加派遣を行った。 全小中学校53校に配置した。</p> <p>2 カウンセラーの配置状況 (1) 1人あたり 中学校各校年間35～40回、小学校各校年間12～40回 (2) 1回あたりの時間 6～8時間</p> <p>3 カウンセラーの活動内容 面談 カウンセリング研修等の実施 カウンセリングルームの環境整備 各学級巡回 各種ケース会議 おたよりの作成 等</p>																												
成 果		<p>スクールカウンセラーを配置することにより、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制が整備されつつある。それが相談件数の増加につながっており、震災後の心のケアも含め、学校や家族の問題等の解決の一助としての役割を担っている。</p> <table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>5,700件</td> <td>6,492件</td> <td>5,740件</td> <td>6,304件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>6,817人</td> <td>7,657人</td> <td>6,399人</td> <td>7,027人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">H29相談人数割合</th> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>45.8%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>32.2%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>21.9%</td> </tr> </table>						主な指標項目	H26	H27	H28	H29	相談件数	5,700件	6,492件	5,740件	6,304件	相談人数	6,817人	7,657人	6,399人	7,027人	H29相談人数割合		児童生徒	45.8%	教職員	32.2%	保護者	21.9%
主な指標項目	H26	H27	H28	H29																										
相談件数	5,700件	6,492件	5,740件	6,304件																										
相談人数	6,817人	7,657人	6,399人	7,027人																										
H29相談人数割合																														
児童生徒	45.8%																													
教職員	32.2%																													
保護者	21.9%																													
成果に係る評価		<p>平成29年度は全小中学校にスクールカウンセラーを配置した。定期の配置のほか、相談ケースの状況に応じた追加派遣を行った。</p> <p>相談活動のみならず、配置校内でのケース会議、教職員向けの研修会、相談しやすい環境づくり等も実施し、積極的な生徒指導に生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケアの面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。</p>																												
予算の執行状況		<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">予算額</td> <td rowspan="2">決算額</td> <td colspan="4">決算額の財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国(県)支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>500,000</td> <td>264,495</td> <td></td> <td></td> <td>264,495</td> <td></td> </tr> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	500,000	264,495			264,495								
予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
500,000	264,495			264,495																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる																														
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施																														
実施計画掲載ページ	P207		中 事 業	スクールソーシャルワーカー配置事業費																																	
事業コード	004-103-002-00525		事 業 名	スクールソーシャルワーカー配置事業																																	
目的及び事業内容	<p>小中学校及び高等学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）に対して面談などの働きかけを行う</p> <p>2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める</p> <p>3 市内小中学校及び高等学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する</p> <p>4 市内小中学校及び高等学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める</p>																																				
取組実績	<p>1 スクールソーシャルワーカーについて（平成29年度6名配置）</p> <p>児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市の相談機関などの関係機関と連携して対応している。また、震災後の児童生徒の心のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーと連携することもとより、児童精神科医とも連携しており、専門的な見地から適切な対応がなされるよう働きかけている。</p> <p>2 配置状況(平成30年3月末現在) 6名配置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>拠点校</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻小、大川小、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週3日</td> </tr> <tr> <td>向陽小、青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>渡波中、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>万石浦中、桃生中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 勤務総日数延べ516日</p> <p>4 連携した機関：児童相談所、健康推進課、市民相談センター（虐待防止センター）、精神科医、児童精神科医、警察署、その他福祉施設等</p>							拠点校	勤務時間、日数	石巻小、大川小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日	向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日	渡波中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日	石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日	万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日	桜坂高校	1日 6時間、週1日																
	拠点校	勤務時間、日数																																			
石巻小、大川小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日																																				
向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日																																				
渡波中、石巻市教育委員会	1日 6時間、週2日																																				
石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日																																				
万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日																																				
桜坂高校	1日 6時間、週1日																																				
成 果	<p>1 スクールソーシャルワーカーの仕事内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。</p> <p>2 問題を抱える家庭に訪問し、関係機関と協力した結果、登校につながるケースも見られた。</p> <p>3 震災の影響で余裕のない保護者の話をじっくり聞く保護者支援を行うことができた。</p> <p>4 教員に対してコンサルテーションを行うことにより、教員の悩みを共有することができた。</p> <p>5 スクールソーシャルワーカー6名を全学校に割振りしたことで、これまで以上に多くのケースにも対応できた。</p> <p>○相談後の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度相談件数（計484件）</td> <td>79件</td> <td>150件</td> <td>220件</td> <td>35件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>16%</td> <td>31%</td> <td>46%</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成29年度活動の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">訪問回数</th> <th colspan="2">ケース会議</th> </tr> <tr> <th>学校</th> <th>家庭</th> <th>関係機関</th> <th>教職員等</th> <th>関係機関等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>759回</td> <td>274回</td> <td>93回</td> <td>74回（56件）</td> <td>79回（89件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対応学校数・・・要請のあった52校（小学校32校、中学校19校、高等学校1校）</p>								問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	H29年度相談件数（計484件）	79件	150件	220件	35件	割合	16%	31%	46%	7%	訪問回数			ケース会議		学校	家庭	関係機関	教職員等	関係機関等	759回	274回	93回	74回（56件）	79回（89件）
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																	
H29年度相談件数（計484件）	79件	150件	220件	35件																																	
割合	16%	31%	46%	7%																																	
訪問回数			ケース会議																																		
学校	家庭	関係機関	教職員等	関係機関等																																	
759回	274回	93回	74回（56件）	79回（89件）																																	
成果に係る評価	<p>スクールソーシャルワーカーについて認知が高まり、家庭や学校からの相談件数が増加した。福祉、医療等関係諸機関との連携体制の充実を図ることができ、不登校対応を中心に、家庭環境問題、暴力行為、児童虐待などの問題の未然防止や早期解決に成果を上げており、今後も事業を長期に渡り継続する必要がある。</p>																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	13,620,000	12,296,986	12,296,986																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																												
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる																												
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施																												
実施計画掲載ページ	P207		中 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																															
事業コード	004-103-002-00525		事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																															
目的及び事業内容	<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施</p> <p>3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																		
取組実績	<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置</p> <p>市立桜坂高等学校に1名配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施</p> <p>1日6時間、年間60日の勤務を原則とし、週2日(火・木)の勤務体制でカウンセリングを実施した。</p> <p>3 カウンセリング講座等の支援活動</p> <p>(1) 生徒を対象としたカウンセリング講話を各学年で実施</p> <p>(2) 教職員を対象とした事例検討会、カウンセリングマインドの技術の習得をねらいとした研修会の実施</p> <p>(3) 教育相談情報交換会・ケース会議(3回)の実施</p>																																		
成 果	<p>生徒の不安や悩みは、学校生活や友人関係などの場合でも、詳しく話を聞くと、家庭内の多種多様な不満やめ事なども合わせて抱え込んでいる場合が多い。そのため、学校でも家庭でも相談をする相手がなく、一人で悩みを解決できずにいる。そのような生徒たちがカウンセリングを受けることにより、カウンセラーとの関わりの中で、問題を解決する糸口や対処法を見つけ、学校生活を送れるようになっていくケースが多くあった。また、保護者の利用も多く、子どもへの接し方や、保護者自身の不安（経済的・時間的・精神的なゆとりが無い）などについて、カウンセラーと相談していく中でよい方向へ向かうケースもあった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>285件</td> <td>222件</td> <td>226件</td> <td>233件</td> <td>268件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>354人</td> <td>272人</td> <td>333人</td> <td>324人</td> <td>333人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29相談人数内訳</th> <th>生 徒</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜坂高校</td> <td>116人</td> <td>200人</td> <td>17人</td> <td>333人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※生徒の相談内容は、多い順に「学校生活：37件」「友人・人間関係：29件」「家庭関係：13件」である。</p> <p>※教職員の相談件数は、全体で138件のうち「情報交換」が137件である。</p> <p>※「震災関係」の相談はなかった。</p>							主な指標項目	H25	H26	H27	H28	H29	相談件数	285件	222件	226件	233件	268件	相談人数	354人	272人	333人	324人	333人	H29相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計	桜坂高校	116人	200人	17人	333人
主な指標項目	H25	H26	H27	H28	H29																														
相談件数	285件	222件	226件	233件	268件																														
相談人数	354人	272人	333人	324人	333人																														
H29相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計																															
桜坂高校	116人	200人	17人	333人																															
成果に係る評価	<p>相談内容についての生徒の傾向には、年度ごとに違いがあり、平成28年度は「家庭関係」、「学校生活」、「進路学業」が多かったが、平成29年度は「学校生活」、「友人・人間関係」、「家庭関係」が多かった。昨年度と比較して相談人数に大きな変化はないが、相談件数は増えている。特に、生徒の相談人数は昨年と比較して50%増である。カウンセラーと相談を行ったほとんどが生徒が、相談後は担任のサポートを受けながら、学校生活を続けていくことができている。ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	1,881,000	1,880,400			1,880,400																														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																											
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																											
	7 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																											
実施計画掲載ページ		P172	中 事 業	震災奨学金給付事業費																														
事業コード		002-101-001-00355	事 業 名	震災奨学金給付事業																														
目的及び事業内容		東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。																																
取組実績		<p>1 対象者への給付 4月と9月に月額金、2月に中学校3年生と高校3年生に一時金を給付した。</p> <p>(1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。未就学児においては、小学校へ入学後、給付開始とする。</p> <p>(2) 給付額 ア 月額（年額） 小学校等に在学する者 10,000円（120,000円） 中学校等に在学する者 20,000円（240,000円） 高等学校等に在学する者 30,000円（360,000円） イ 一時金 中学校3年生 300,000円 高校3年生 500,000円</p> <p>(3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																																
成 果		<p>平成29年度は小学生4名、中学生7名、高校生10名の計21名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>4</td> <td>480,000 円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>7</td> <td>1,680,000 円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>10</td> <td>3,600,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21</td> <td>5,760,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一時金として、中学生2名、高校生2名の震災孤児に給付をした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>2</td> <td>600,000 円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>2</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4</td> <td>1,600,000 円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	人数	給付額	小学生	4	480,000 円	中学生	7	1,680,000 円	高校生	10	3,600,000 円	合計	21	5,760,000 円	区分	人数	給付額	中学生	2	600,000 円	高校生	2	1,000,000 円	合計	4	1,600,000 円
区分	人数	給付額																																
小学生	4	480,000 円																																
中学生	7	1,680,000 円																																
高校生	10	3,600,000 円																																
合計	21	5,760,000 円																																
区分	人数	給付額																																
中学生	2	600,000 円																																
高校生	2	1,000,000 円																																
合計	4	1,600,000 円																																
成果に係る評価		<p>震災奨学金の給付により、対象となる全ての児童生徒に対し、修学の支援を行なうことができた。一時金は中学及び高校卒業時に給付しており、希望する進路選択の実現の支援を行なうことができた。</p> <p>震災奨学金の給付により、安定した修学の機会を継続して提供することができており、今後も給付事業を行っていくことが必要である。</p>																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	7,360,000	7,360,000			7,360,000																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ		P207	中 事 業	震災心のサポート事業費			
事業コード		004-103-002-00526	事 業 名	心のケア充実事業（震災心のサポート事業）〔復興基金〕			
目的及び事業内容		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家による巡回相談や健康実態調査を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p> <p>2 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</p>					
取組実績		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 (1) 医療専門家による巡回相談の実施・・・震災直後から支援に入っている国立国際医療研究センター国府台病院（千葉県）の児童精神科の医師が定期的に来石し、要請に基づいて、問題を抱えた児童生徒やその保護者、教員に対する相談活動を行った。</p> <p>(2) 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施・・・市立幼稚園、小・中学校及び高等学校の全園児、児童生徒に対して震災直後から「健康実態調査」を行い、震災後の園児、児童生徒の心身の健康状態やトラウマに関するデータを集約した。結果については、すべての園・学校に個別に児童精神科医が説明をしながらフィードバックを行い、校内での支援・指導に役立てた。</p> <p>(3) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立・・・関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちに対するケース会議を年8回12ケースについて行った。</p> <p>2 震災心の支援室事務 希望による個別訪問、電話、来室相談等の実施、交流会の開催、関係機関との連絡調整、支援室だよりの発行、支援室会議、ケース会議の開催</p>					
成 果		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 (1) ほぼ毎月、1名の児童精神科の医師が2～3日間石巻市に滞在し、要請のあった学校及び家庭等を訪問し、相談活動を行った。専門的な立場からアドバイスをし、支援や指導に役立っているとともに、適切な医療機関につながったケースもある。平成29年度は、21日間にわたって、延べ69件の相談に対応した。</p> <p>(2) 児童精神科医が、平成23年度から継続して実態調査を行い、データに基づいて、支援や指導のアドバイスをを行っている。トラウマについては、平成25年度以降で大きな変化が見られないことから全体としては落ち着いている状態である。フィードバックの際は、学校ごとに面談し、全体の傾向配慮を要する児童生徒についての助言があり、学校の指導に大いに生かされている。</p> <p>(3) ほぼ毎月、「石巻市子ども支援関係者会議」を開催し、関係機関が出席して問題を抱える児童生徒のケース会議を行い、支援に役立っている。 (メンバー) 国府台病院児童精神科医師、精神科医師、ソーシャルワーカー、児童相談所、虐待防止センター、健康推進課等関係課、スクールソーシャルワーカー、学校教育課、当該学校職員等</p> <p>2 震災心の支援室事務 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室によりお話を伺いすることや、御遺族からの要望を受けての交流会の開催や支援室だよりの発行、支援室会議、ケース会議の開催</p>					
成果に係る評価		<p>1 児童精神科医による巡回相談、ケース会議及び健康実態調査業務 各学校、園では、巡回相談、ケース会議及び健康実態調査の結果を児童生徒の対応に生かしている。特に、配慮を要する児童生徒の対応について、専門医の意見や助言を得ることができることから、児童生徒、保護者、教員にとってニーズの高いものであり、今後も事業の継続が必要である。</p> <p>2 震災心の支援室事務 御遺族に対する心の支援はまだ決して十分とは言えない状況であり、御遺族ごとに希望される支援も様々に変化している、引き続き交流会の開催や生活に関する相談等、御遺族に寄り添った細やかなサポートを継続して行くことが重要である。</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	7,000,000	5,782,014			5,782,014		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	1 項	教育総務費		第 節		(1)	未来の人を育てる	
	3 7 目	教育指導奨励費 東日本大震災関係費		()		(3)	子どものケアの実施	
実施計画掲載ページ		P208	中 事 業	学校安全推進費、実践的安全教育総合支援事業費、防災教育充実事業費				
事業コード		004-103-002-00528	事 業 名	防災教育充実事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容		<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応力を育成するための教材等の作成</p>						
取 組 実 績		<p>1 学校防災推進会議の設置と協議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当で構成する学校防災推進会議において、市としての学校防災の今後の在り方について協議を行い、協議結果を基に具体的な事業を展開した。主な事業としては、「安全担当主幹教諭や防災主任を対象とした研修会の実施」、「学校防災フォーラムの開催」、「地域防災連絡会設置の促進」、「防災教育副読本の発行」、「学校防災マニュアルのチェックリストによる点検及び改善の指導」、「避難訓練学校訪問」、「大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査」、「クロスロード石巻版教職員編の作成」を行った。</p> <p>2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練 児童生徒が災害から自らを守るために主体的に行動する力を育成することをねらいとして、緊急地震速報受信機を導入し、緊急地震速報を活用した避難訓練を実施した。</p> <p>3 防災教育副読本の発行 本市の実態に即した防災教育推進のため、防災教育副読本を市内全児童生徒に配布した。また、平成32年度版防災教育副読本の全面改訂に向けて、防災教育副読本の活用状況調査を実施した。 ＜平成30年度版発行実績＞ (小学校)1年生 1,200冊 4年生 1,200冊 (中学校)1年生 1,200冊</p>						
成 果		<p>1 学校防災推進会議では、3つのワーキンググループごとに、具体的な事業を実施した。 「学校防災マニュアル」については、チェックリストによる点検及び改善の指導を行ったことで、学校防災マニュアルの充実が図られた。「地域防災連絡会の設置促進」については、設置率は、平成26年度は62.5%、平成27年度は77%、平成28年度は80.3%、平成29年度は84.7%と向上してきている。「学校防災フォーラム」では、復興・防災マップづくりの発表やパネルディスカッション、学校防災マニュアル等の展示発表を通して石巻スタイルを発信することができた。「避難訓練学校訪問」では、市内全学校園を訪問し、指導・助言を行ったことで、学校が立地する地域で、予想される災害を想定した避難訓練や想定外の事態を設定した避難訓練も実施され、災害に対する危機意識が高まっている。</p> <p>2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練では、設置校29校において実践的な避難訓練が実施されている。緊急地震速報を聞く緊張感が生まれ、児童生徒は臨場感をもって訓練に取り組むことができています。</p> <p>3 防災教育副読本は全ての小中学校で活用されている。また、防災学習の時間は、平均で小学校14時間、中学校13時間となっており、災害に対する知識や災害対応力が向上している。</p>						
成果に係る評価		<p>1 各学校の避難訓練では、「地震」、「地震・津波」を想定した避難訓練を実施する学校が多くみられた。また、地震が引き起こす災害を想定した、「地震・火災」、「地震・原子力」の避難訓練のほか、各校の立地条件から災害を想定した「洪水」、「土砂災害」の避難訓練が実施されている。今後も児童生徒の災害対応力の育成を図るため、より実践的な避難訓練を実施する必要がある。</p> <p>2 各校の防災マニュアルは、チェックリストによる点検及び改善指導を継続することで、あらゆる災害に対して、学校が対応できるように、さらに整備を進めたい。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳					
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,438,000	3,884,060	648,000		1,896,860	1,339,200		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()																																						
	2 項	小学校費		第 1 節		()																																						
	1 目	学校管理費		(3)		()																																						
実施計画掲載ページ		P23	中 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																								
事業コード		002-001-003-00217	事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																								
目的及び事業内容		<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付</p>																																										
取 組 実 績		<p>小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H28</td> <td>8校</td> <td>267人</td> <td>62,040,036 円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8校</td> <td>259人</td> <td>67,802,336 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート (鮎川小学校)</td> <td>H28</td> <td>1校</td> <td>3人</td> <td>3,852,740 円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1校</td> <td>2人</td> <td>4,011,480 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H29） 稲井小学校、東浜小学校、飯野川小学校、二俣小学校、雄勝小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、大原小学校</p> <p>2 遠距離通学費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H28</td> <td>3校</td> <td>36人</td> <td>1,848,080 円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3校</td> <td>42人</td> <td>1,819,680 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遠距離通学補助金対象校（H29） 万石浦小学校、大谷地小学校、二俣小学校</p>						区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H28	8校	267人	62,040,036 円	H29	8校	259人	67,802,336 円	スクールボート (鮎川小学校)	H28	1校	3人	3,852,740 円	H29	1校	2人	4,011,480 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	H28	3校	36人	1,848,080 円	H29	3校	42人	1,819,680 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																																								
スクールバス等	H28	8校	267人	62,040,036 円																																								
	H29	8校	259人	67,802,336 円																																								
スクールボート (鮎川小学校)	H28	1校	3人	3,852,740 円																																								
	H29	1校	2人	4,011,480 円																																								
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																																								
遠距離通学費補助金	H28	3校	36人	1,848,080 円																																								
	H29	3校	42人	1,819,680 円																																								
成 果		<p>平成29年4月の雄勝小学校と大須小学校の学校統合により新たに路線を追加するなど、小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。</p>																																										
成果に係る評価		<p>通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保を図るため、引き続き、地域の実情に配慮しながら適正な通学支援を実施する必要がある。</p>																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																																									
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	76,347,000	73,633,496	9,226,200			64,407,296																																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	()																			
	2 項	小学校費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																			
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()																			
実施計画掲載ページ		P 34	中 事 業	小学校管理費（学校教育課）																						
事業コード		002-003-001-00234	事 業 名	小学校外国語活動指導補助員活用事業																						
目的及び事業内容		小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、外国語活動の充実を図るとともに、教員の指導力の向上を図る。																								
取組実績		<p>小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践</p> <p>支援員は、1クラス当たり年間25時間の外国語活動の補助を行った。支援員は、担任とのチームティーチングの態勢で、さらに場合によってはALTも含めた体制で外国語活動の授業補助を行った。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>配置を希望する学校数</td> <td>29校</td> <td>28校</td> <td>26校</td> <td>27校</td> <td>26校</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>9人</td> <td>9人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>9人</td> </tr> </table>							主な指標項目	H25	H26	H27	H28	H29	配置を希望する学校数	29校	28校	26校	27校	26校	配置した支援員数	9人	9人	10人	10人	9人
主な指標項目	H25	H26	H27	H28	H29																					
配置を希望する学校数	29校	28校	26校	27校	26校																					
配置した支援員数	9人	9人	10人	10人	9人																					
成 果		<p>1 児童の興味・関心の向上</p> <p>(1) 外国語が堪能な補助員による英語での指示を聞いて活動することや、一緒に会話をするにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。 (外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…89.8%)</p> <p>(2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、会話の場面のイメージを膨らませることができ、外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上</p> <p>補助員の支援は、英語を聞くことや話すことを中心としたコミュニケーション能力を高める手段として有効であった。</p> <p>3 担任の指導力の向上</p> <p>指導補助員が適切に補助を行うことにより、外国語活動を指導する担任等が安心して指導に当たることができると同時に、担任が指導法を学ぶことができ、指導力の向上につながった。</p>																								
成果に係る評価		毎年、30校近くの小学校から配置要請があり、学校からのニーズが高い。支援員の英語力を生かしながら担任をサポートすることで楽しい授業を展開することができた。 平成32年度実施の次期学習指導要領から3・4学年での外国語活動、5・6学年での英語科が新設されるため、児童が英語の堪能な補助員と学習する機会を確保するには配置時間を増加させる必要がある。人材の確保と新学習指導要領に対応した配置を計画していく必要がある。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	3,422,000	2,731,029					2,731,029																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	()																															
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業	小学校保健費																																		
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（小学校） 学校医・薬剤師配置事業（小学校）																																		
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置</p> <p>小学校34校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施した。</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>27 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>5 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>29 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置</p> <p>小学校34校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>31 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1・4年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>2・4・6年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施</p> <p>学校の水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	27 人	耳 鼻 科 医	4 人	眼 科 医	5 人	歯 科 医	29 人	薬 剤 師	31 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生	耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	27 人	耳 鼻 科 医	4 人																																			
眼 科 医	5 人	歯 科 医	29 人																																			
薬 剤 師	31 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1・4年生																																			
耳鼻科健診	2・4・6年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全な育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>小学生</td> <td>6,585人</td> <td>4年生</td> <td>1,151人</td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>1,044人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 飲料水水質検査</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>小学校</td> <td>34校</td> </tr> </table>							小学生	6,585人	4年生	1,151人	1年生	1,044人			小学校	34校																				
小学生	6,585人	4年生	1,151人																																			
1年生	1,044人																																					
小学校	34校																																					
成果に係る評価		学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、児童に対して的確な予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、児童の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	37,581,772	36,439,498	449,000				35,990,498																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業		小学校保健費			
事業コード		002-001-002-00220	事 業 名		就学時健康診断実施事業			
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、就学予定児に対して、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握し、必要な助言・指導を行うことを目的としている。</p> <p>・就学時健康診断の実施</p>						
取組実績		<p>1 就学時健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査</p> <p>2 就学時健康診断の合同開催について 平成29年度において、万石浦・萩浜・牡鹿地区については、万石浦小学校を会場に5校合同により就学時健康診断を実施した。 【万石浦小、東浜小、大原小、鮎川小、寄磯小】</p>						
成果		<p>就学予定児の保護者に対し、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が図られた。</p> <p>また、万石浦・萩浜・牡鹿地区による合同開催を実施したことにより、学校医の負担軽減及び経費削減が図られた。</p> <p>1 就学時健康診断 1,019人</p>						
成果に係る評価		<p>就学予定児の健康状態を把握し、保護者に対して必要な助言・指導を行い、次年度の小学校入学に備えるため、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>また、学校医の負担軽減及び経費削減を図るため、今後も各校の状況を考慮しながら、合同開催について検討していく必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	4,020,340		3,464,080					3,464,080

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()													
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()													
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()													
実施計画掲載ページ		P 29	中 事 業		小学校施設維持整備費															
事業コード		002-001-003-01199	事 業 名		小学校電気設備更新事業															
目的及び事業内容		<p>老朽化が進んでいる学校施設の電気設備機器等の更新を実施し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																		
取組実績		<p>老朽化が進んでいる小学校施設の電気設備機器等の更新を実施した。</p> <p>1 実施校・内容 (1) 山下小学校 キュービクル内機器交換、高圧気中開閉器交換、キュービクル外装補修、キュービクル用フェンス交換 (2) 広瀬小学校 高圧気中開閉器交換</p> <p>2 施設別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>H29予算額</th> <th>H29事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山下小学校</td> <td>11,369,700</td> <td>4,026,433</td> </tr> <tr> <td>広瀬小学校</td> <td>681,480</td> <td>250,367</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,051,180</td> <td>4,276,800</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	H29予算額	H29事業費	山下小学校	11,369,700	4,026,433	広瀬小学校	681,480	250,367	計	12,051,180	4,276,800
施設名	H29予算額	H29事業費																		
山下小学校	11,369,700	4,026,433																		
広瀬小学校	681,480	250,367																		
計	12,051,180	4,276,800																		
成果		<p>老朽化が進んでいる山下小学校及び広瀬小学校の電気設備機器等の更新を実施し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。</p>																		
成果に係る評価		<p>児童の安全を守り、安心な教育環境の整備を図るため、電気設備機器の更新を実施した。電気設備機器は適切な改修を行わなければ漏電や停電等の事故や故障が発生しうる危険性があり、事故等を防ぐため定期的な設備更新が求められることから、引き続き事業を継続する必要がある。</p> <p>併せて、給排水設備など他の設備機器についても老朽化が進行しており、改修の必要性があることから、費用や工期を考慮した上で、適切な改修手法の検討を進めていく。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	12,051,180		4,276,800					4,276,800												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																																			
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																			
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																			
実施計画掲載ページ		P25	中 事 業	小学校教育用コンピューター関係費																																																						
事業コード		002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）																																																						
目的及び事業内容		国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。																																																								
取組実績		<p>小学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">整備年度</th> <th colspan="4">整備内容</th> </tr> <tr> <th>教育用コンピューター</th> <th>電子黒板</th> <th colspan="2">タブレット（学習用）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H25</td> <td>河北地区 1校： 9台</td> <td>河北地区 1校： 1台</td> <td colspan="2">河北地区 1校： 6台</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区 2校： 10台</td> <td>雄勝地区 2校： 3台</td> <td colspan="2">雄勝地区 2校： 12台</td> </tr> <tr> <td>北上地区 1校： 17台</td> <td>北上地区 1校： 1台</td> <td colspan="2">北上地区 1校： 6台</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>石巻地区 8校： 185台</td> <td>石巻地区 8校： 25台</td> <td colspan="2">石巻地区 8校： 52台</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>石巻地区 8校： 232台</td> <td>石巻地区 8校： 40台</td> <td colspan="2">石巻地区 8校： 56台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>河北地区 3校： 66台</td> <td>河北地区 3校： 9台</td> <td colspan="2">河北地区 3校： 21台</td> </tr> <tr> <td>桃生地区 3校： 61台</td> <td>桃生地区 3校： 9台</td> <td colspan="2">桃生地区 3校： 21台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>河南地区 6校： 127台</td> <td>河南地区 6校： 21台</td> <td colspan="2">河南地区 6校： 42台</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区 3校： 32台</td> <td>牡鹿地区 3校： 6台</td> <td colspan="2">牡鹿地区 3校： 13台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 教育用コンピューター…PC室用PC、教材作成用PC、普通教室/特別教室用PC ※ 上記数量には、寄附等で整備した機器は含まない。</p>							整備年度	整備内容				教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習用）		H25	河北地区 1校： 9台	河北地区 1校： 1台	河北地区 1校： 6台		雄勝地区 2校： 10台	雄勝地区 2校： 3台	雄勝地区 2校： 12台		北上地区 1校： 17台	北上地区 1校： 1台	北上地区 1校： 6台		H26	石巻地区 8校： 185台	石巻地区 8校： 25台	石巻地区 8校： 52台		H27	石巻地区 8校： 232台	石巻地区 8校： 40台	石巻地区 8校： 56台		H28	河北地区 3校： 66台	河北地区 3校： 9台	河北地区 3校： 21台		桃生地区 3校： 61台	桃生地区 3校： 9台	桃生地区 3校： 21台		H29	河南地区 6校： 127台	河南地区 6校： 21台	河南地区 6校： 42台		牡鹿地区 3校： 32台	牡鹿地区 3校： 6台	牡鹿地区 3校： 13台	
整備年度	整備内容																																																									
	教育用コンピューター	電子黒板	タブレット（学習用）																																																							
H25	河北地区 1校： 9台	河北地区 1校： 1台	河北地区 1校： 6台																																																							
	雄勝地区 2校： 10台	雄勝地区 2校： 3台	雄勝地区 2校： 12台																																																							
	北上地区 1校： 17台	北上地区 1校： 1台	北上地区 1校： 6台																																																							
H26	石巻地区 8校： 185台	石巻地区 8校： 25台	石巻地区 8校： 52台																																																							
H27	石巻地区 8校： 232台	石巻地区 8校： 40台	石巻地区 8校： 56台																																																							
H28	河北地区 3校： 66台	河北地区 3校： 9台	河北地区 3校： 21台																																																							
	桃生地区 3校： 61台	桃生地区 3校： 9台	桃生地区 3校： 21台																																																							
H29	河南地区 6校： 127台	河南地区 6校： 21台	河南地区 6校： 42台																																																							
	牡鹿地区 3校： 32台	牡鹿地区 3校： 6台	牡鹿地区 3校： 13台																																																							
成 果		<ul style="list-style-type: none"> 児童がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 平成25年度より教育用コンピューターの更新に合わせて、タブレットを整備している。平成29年度は55台整備した。 																																																								
成果に係る評価		<ul style="list-style-type: none"> 情報化社会に必要な知識を習得するため、これからの学習活動を支えるICT機器等[大型提示装置（電子黒板等）、学習者用コンピューター（タブレット）等]や無線LAN環境の整備を進めてきたが、文部科学省が新たに策定した「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」に基づき、タブレットの整備台数を増やす等、より一層整備を進める必要がある。 デジタル教科書の活用や電子黒板等の整備台数を増やしたことにより、多くの教員がICT機器を活用する機会が増え、ICT活用能力向上が図られた。 																																																								
（単位：円）																																																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																					
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	89,020,000		88,370,850					88,370,850																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																									
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																									
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																									
実施計画掲載ページ		P24	中 事 業	小学校教育振興援助費																																												
事業コード		002-001-003-00222	事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																																												
目的及び事業内容		経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者の経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成																																														
取組実績		<p>1 就学援助費 小学校：認定者数 643名 / 児童数 6,589名 (9.76%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>8,405,980円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>1,940,118円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>311,955円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>7,220円</td></tr> <tr><td>新入学生用品費</td><td>3,329,200円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>4,222,400円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>2,427,829円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>27,369,534円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>441,040円</td></tr> <tr><td>計</td><td>48,455,276円</td></tr> </table> <p>2 特別支援教育就学奨励費 小学校：認定者数 96名 / 児童数 6,589名 (1.46%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>321,670円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>36,917円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>18,918円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>448,147円</td></tr> <tr><td>新入学生用品費</td><td>142,100円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>80,563円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,177,695円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>2,040円</td></tr> <tr><td>通級指導教室通学費</td><td>113,466円</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,341,516円</td></tr> </table>							学用品費	8,405,980円	校外活動費（宿泊なし）	1,940,118円	校外活動費（宿泊あり）	311,955円	通学費	7,220円	新入学生用品費	3,329,200円	新入学準備金	4,222,400円	修学旅行費	2,427,829円	給食費	27,369,534円	医療費	441,040円	計	48,455,276円	学用品費	321,670円	校外活動費（宿泊なし）	36,917円	校外活動費（宿泊あり）	18,918円	通学費	448,147円	新入学生用品費	142,100円	修学旅行費	80,563円	給食費	1,177,695円	交流学習交通費	2,040円	通級指導教室通学費	113,466円	計	2,341,516円
学用品費	8,405,980円																																															
校外活動費（宿泊なし）	1,940,118円																																															
校外活動費（宿泊あり）	311,955円																																															
通学費	7,220円																																															
新入学生用品費	3,329,200円																																															
新入学準備金	4,222,400円																																															
修学旅行費	2,427,829円																																															
給食費	27,369,534円																																															
医療費	441,040円																																															
計	48,455,276円																																															
学用品費	321,670円																																															
校外活動費（宿泊なし）	36,917円																																															
校外活動費（宿泊あり）	18,918円																																															
通学費	448,147円																																															
新入学生用品費	142,100円																																															
修学旅行費	80,563円																																															
給食費	1,177,695円																																															
交流学習交通費	2,040円																																															
通級指導教室通学費	113,466円																																															
計	2,341,516円																																															
成 果		経済的な事情により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 就学援助の新入学生用品費について、ランドセルや運動着等の購入で出費がかさむ入学前に、新入学準備金を支給できるよう要綱等を改め、児童の保護者の就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。																																														
成果に係る評価		経済的な事情により就学が困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての児童の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。																																														
（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																											
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	51,034,000		50,796,792		1,392,500			49,404,292																																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																		
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																		
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																		
実施計画掲載ページ		P 24	中 事 業		小学校図書整備事業費																																																				
事業コード		002-001-003-00239	事 業 名		学校図書整備事業（小学校）																																																				
目的及び事業内容		<p>全国的に小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を「学校図書館図書整備5か年計画」として策定し、整備を推進した。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人形形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p> <p>また、文部科学省は更なる学校図書館の整備充実のため平成29年度から平成33年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」として策定、蔵書の計画的な更新を図っていく。</p>																																																							
取組実績		<p>市内全ての小学校において、平成29年度末に学校図書館図書標準に対する充足率が100%となることを目標とし、充足率の低い学校に予算を重点配分し充足率の向上に努めた。</p> <p>平成29年度においては前年度と比較して大幅に整備冊数が伸び、読書活動や学習活動に役立つ図書を購入することができた。</p> <p>＜小学校図書の整備冊数＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>17,276冊</td> <td>24,512冊</td> <td>25,027冊</td> <td>19,974冊</td> <td>15,692冊</td> <td>24,499冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文科省で定めた公立の義務教育諸学校において学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>								H24	H25	H26	H27	H28	H29		17,276冊	24,512冊	25,027冊	19,974冊	15,692冊	24,499冊																																			
	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																			
	17,276冊	24,512冊	25,027冊	19,974冊	15,692冊	24,499冊																																																			
成 果		<p>学校図書の整備充実に努めたことにより、読書活動や学習活動に積極的に活用され、児童が読書に親しみ楽しむことで感受性や考える力の育成に寄与できた。</p> <p>充足率の低い学校へ予算を重点配分した結果、充足率の向上と児童の発達段階に応じた図書が整備できた。</p> <p>＜小学校図書充足率達成状況＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成率</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>9校</td> <td>12校</td> <td>11校</td> <td>13校</td> <td>16校</td> <td>26校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>10校</td> <td>14校</td> <td>18校</td> <td>17校</td> <td>17校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>18校</td> <td>11校</td> <td>8校</td> <td>5校</td> <td>2校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>5校</td> <td>2校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>42校</td> <td>39校</td> <td>37校</td> <td>35校</td> <td>35校</td> <td>34校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>21.43%</td> <td>30.77%</td> <td>29.73%</td> <td>37.14%</td> <td>45.71%</td> <td>76.47%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度末時点</p>							達成率	H24	H25	H26	H27	H28	H29	100%以上（A）	9校	12校	11校	13校	16校	26校	75%以上-100%未満	10校	14校	18校	17校	17校	6校	50%以上-75%未満	18校	11校	8校	5校	2校	2校	50%未満	5校	2校	0校	0校	0校	0校	合計(B)	42校	39校	37校	35校	35校	34校	100%以上達成校の割合（A/B）	21.43%	30.77%	29.73%	37.14%	45.71%	76.47%
達成率	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																			
100%以上（A）	9校	12校	11校	13校	16校	26校																																																			
75%以上-100%未満	10校	14校	18校	17校	17校	6校																																																			
50%以上-75%未満	18校	11校	8校	5校	2校	2校																																																			
50%未満	5校	2校	0校	0校	0校	0校																																																			
合計(B)	42校	39校	37校	35校	35校	34校																																																			
100%以上達成校の割合（A/B）	21.43%	30.77%	29.73%	37.14%	45.71%	76.47%																																																			
成果に係る評価		<p>平成29年度は全ての小学校において充足率100%を達成する目標年度であったが、専門書など単価の高い本を購入したため冊数が伸びなかったり、蔵書の点検による老朽化した図書の廃棄が購入冊数を上回った等の理由により8校が未達成となった。</p> <p>充足率を達成した学校も、長期間廃棄を行っていない学校が多く、蔵書のうち3~4割が更新が必要な図書（平成29年度石巻市立小中学校調査結果）であることから、今後は老朽化した図書や古い内容の図書を継続的・計画的に更新し、学校図書館の充実を図っていきたい。</p>																																																							
（単位：円）																																																									
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
		33,700,000	33,700,000			29,309,000	4,391,000																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																								
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																								
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																								
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業		小学校施設老朽化対策事業費																																										
事業コード		002-001-003-01027	事 業 名		小学校校舎老朽化対策事業																																										
目的及び事業内容		<p>老朽化が著しく進行している学校施設について屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																													
取組実績		<p>老朽化が著しく進行している小学校4校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。また、平成30年度の工事着手を予定している小学校2校の設計業務を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事（繰越事業） 蛇田小学校、向陽小学校、万石浦小学校、須江小学校 (2) 設計（平成30年度工事着手予定） 大街道小学校、中里小学校</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 （単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="2">H29予算額</th> <th colspan="2">H29事業費</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>4,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>26,807,000</td> <td>26,807,000</td> <td>26,806,680</td> <td>26,806,680</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>38,000,000</td> <td>0</td> <td>13,164,755</td> <td>13,164,755</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>641,557,000</td> <td>641,557,000</td> <td>597,262,682</td> <td>597,262,682</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>710,464,000</td> <td>668,364,000</td> <td>637,334,117</td> <td>637,334,117</td> </tr> </tbody> </table>							費目	H29予算額		H29事業費		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	100,000	0	100,000	0	手数料	4,000,000	0	0	0	設計	26,807,000	26,807,000	26,806,680	26,806,680	監理	38,000,000	0	13,164,755	13,164,755	工事	641,557,000	641,557,000	597,262,682	597,262,682	計	710,464,000	668,364,000	637,334,117	637,334,117
費目	H29予算額		H29事業費																																												
	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																											
消耗品費	100,000	0	100,000	0																																											
手数料	4,000,000	0	0	0																																											
設計	26,807,000	26,807,000	26,806,680	26,806,680																																											
監理	38,000,000	0	13,164,755	13,164,755																																											
工事	641,557,000	641,557,000	597,262,682	597,262,682																																											
計	710,464,000	668,364,000	637,334,117	637,334,117																																											
成 果		<p>老朽化が著しく進行している小学校4校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施したことにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。</p>																																													
成果に係る評価		<p>平成29年度は小学校4校の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに児童の教育環境の改善が図られた。しかしながら、市内には同様の工事を必要とする小学校があることから、設計が完了している大街道小学校、中里小学校を含めて引き続き事業を継続する必要がある。</p> <p>また、現状では主に屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施しているが、改修を行っていない箇所や設備機器等もあることから、整備手法や費用について定期的に見直しを図りながら、適切な改修方法を検討する。</p>																																													
（単位：円）																																															
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																								
		710,464,000	637,334,117	221,730,000	302,400,000		113,204,117																																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P27	中 事 業	鹿又小学校屋内運動場改築事業費				
事業コード	002-001-003-00246	事業名	鹿又小学校屋内運動場改築事業					
目的及び事業内容		鹿又小学校の屋内運動場は、経年劣化により老朽化が著しく、施設が狭小なため、改築工事を実施し児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。 平成28年度に地質調査、造成設計、造成工事、改築設計を実施し、平成29年度より改築工事に着手した。						
取組実績	平成29年度は繰越事業となった造成工事が完了し、改築工事に着手した。							
	1 全体事業 (1) 平成26年度 耐力度調査 (2) 平成27年度 登記事務（所有権保存） (3) 平成28年度 地質調査、造成設計、造成工事（H28→H29繰越明許・完了）、改築設計 (4) 平成29年度から平成30年度まで 改築工事							
	2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)							
	費目	H29予算額	繰越分	現年度分	H29事業費	繰越分	現年度分	H30繰越
	消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	0	50,000	0
	委託料	15,421,000	15,421,000	0	0	0	0	0
	造成工事	43,257,009	43,257,009	0	29,908,080	29,908,080	0	0
	改築監理	6,000,000	3,000,000	3,000,000	0	0	0	6,000,000
	改築工事	441,000,000	220,500,000	220,500,000	303,920,000	151,960,000	151,960,000	137,080,000
	電柱移転	1,032,991	1,032,991	0	1,032,991	1,032,991	0	0
	計	506,761,000	283,211,000	223,550,000	334,911,071	182,901,071	152,010,000	143,080,000
成 果	施設拡張を図る上で必要な工事となる造成工事が完了し、改築工事へ向けた準備が図られた。 また、改築工事は平成30年3月現在、全体工事の3割程度が完了し、概ねスケジュール通り工事が進行している。							
	成果に係る評価							
改築工事は概ねスケジュール通りに工事が進行していることから、平成30年度内の事業完了に向け、引き続き関係各所と調整を図りながら、事業を進める。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	363,681,000	334,911,071	36,764,000	282,100,000			16,047,071	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費		第 節			(1)	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費		()			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P201	中 事 業	被災児童通学支援事業費				
事業コード	004-101-001-00480	事業名	被災児童通学支援事業（小学校）					
目的及び事業内容		東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・代替え校スクールバスの運行 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバス等の運行						
取組実績	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。							
	(支援実績)							
		区分	延べ学校数	対象人数	金額			
	代替え校スクールバス	2 校	66 人	30,157,964 円				
	仮設住宅スクールバス等	10 校	95 人	54,334,169 円				
	通学路安全対策バス等	2 校	48 人	18,818,110 円				
	計	14 校	209 人	103,310,243 円				
(支援状況)								
代替え校スクールバス								
	学校名	状 況						
	大川小学校	仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行						
	北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行						
通学路安全対策バス等								
	学校名	状 況						
	湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行						
	万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行						
※仮設住宅スクールバス等利用児童在籍校（H29） 石巻小学校、湊小学校、釜小学校、渡波小学校、稲井小学校、開北小学校 大街道小学校、雄勝小学校、広瀬小学校、北上小学校								
成 果	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し通学区域の学校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、利用状況に応じたスクールバス等の運行による通学支援により、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。							
	成果に係る評価							
東日本大震災により通学支援が必要となった児童の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。 引き続き、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を実施する必要がある。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	107,978,642	103,310,243	91,924,343				11,385,900	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	2 項	小学校費				(1)	未来の人を育てる																				
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																				
実施計画掲載ページ	P201		中 事 業	被災児童就学支援事業費																							
事業コード	004-101-001-00481		事 業 名	被災児童就学支援事業（小学校）																							
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。（支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯 ・原子力発電所の事故により避難してきた世帯 																										
取組実績	<p>1 就学援助費 小学校：認定者数 1,874名 / 児童数 6,589名 (28.44%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>24,797,520 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>5,780,961 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>1,183,698 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>11,043,200 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>7,105,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>6,337,461 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>80,856,030 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>173,820 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>137,277,690 円</td></tr> </table>							学用品費	24,797,520 円	校外活動費(宿泊なし)	5,780,961 円	校外活動費(宿泊あり)	1,183,698 円	通学費	0 円	新入学学用品費	11,043,200 円	新入学準備金	7,105,000 円	修学旅行費	6,337,461 円	給食費	80,856,030 円	医療費	173,820 円	計	137,277,690 円
	学用品費	24,797,520 円																									
校外活動費(宿泊なし)	5,780,961 円																										
校外活動費(宿泊あり)	1,183,698 円																										
通学費	0 円																										
新入学学用品費	11,043,200 円																										
新入学準備金	7,105,000 円																										
修学旅行費	6,337,461 円																										
給食費	80,856,030 円																										
医療費	173,820 円																										
計	137,277,690 円																										
成 果	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>就学援助の新入学学用品費について、ランドセルや運動着等の購入で出費がかさむ入学前に、新入学準備金を支給できるよう要綱等を改め、児童の保護者の就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p> <p>被災者の再建状況を踏まえ、被災児童就学援助費の認定基準について検討し、平成30年度より認定基準に所得要件を加え、均等な教育機会の提供ができるよう見直しを行った。</p>																										
成果に係る評価	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な児童の就学機会を確保するために、今後も継続した支援が必要である。</p>																										
予算の執行状況	(単位：円)																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	137,277,690	137,277,690	137,277,690																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																								
	2 3 項	小学校費 中学校費				(1)	未来の人を育てる																																								
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																								
実施計画掲載ページ	P203		中 事 業	小学校太陽光発電設備整備事業費 中学校太陽光発電設備整備事業費																																											
事業コード	004-101-001-00478		事 業 名	学校施設太陽光発電設備整備事業																																											
目的及び事業内容	<p>災害時に避難所となる学校施設について、自立的な電力供給を確保するため太陽光発電設備を導入し施設の防災機能を強化する。</p>																																														
取組実績	<p>平成29年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>設置工事</td> <td>設計業務</td> <td>構造検討業務</td> </tr> <tr> <td>・蛇田小学校</td> <td>・大谷地小学校</td> <td>・大谷地小学校</td> </tr> <tr> <td>・真山小学校</td> <td>・二俣小学校</td> <td>・二俣小学校</td> </tr> <tr> <td>・開北小学校</td> <td>・前谷地小学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・大街道小学校</td> <td>・中津山第二小学校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・桃生中学校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							設置工事	設計業務	構造検討業務	・蛇田小学校	・大谷地小学校	・大谷地小学校	・真山小学校	・二俣小学校	・二俣小学校	・開北小学校	・前谷地小学校		・大街道小学校	・中津山第二小学校		・桃生中学校																								
	設置工事	設計業務	構造検討業務																																												
・蛇田小学校	・大谷地小学校	・大谷地小学校																																													
・真山小学校	・二俣小学校	・二俣小学校																																													
・開北小学校	・前谷地小学校																																														
・大街道小学校	・中津山第二小学校																																														
・桃生中学校																																															
成 果	<p>平成29年度において、小学校4校、中学校1校に太陽光発電設備を整備した。</p> <p>これまでの整備状況 (単位：校)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>高等学校</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>36</td> </tr> </table>								H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計	小学校	1	3	4	9	0	4	21	中学校	0	1	3	7	2	1	14	高等学校	0	0	1	0	0	0	1	合計	1	4	8	16	2	5	36
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計																																								
小学校	1	3	4	9	0	4	21																																								
中学校	0	1	3	7	2	1	14																																								
高等学校	0	0	1	0	0	0	1																																								
合計	1	4	8	16	2	5	36																																								
成果に係る評価	<p>災害時における自立的な電力供給を確保するため太陽光発電設備（発電パネル10kW、蓄電池15kWh、非常用照明、非常用コンセント）を導入し、施設の防災機能を強化した。</p> <p>このことにより、停電時においても防災行政無線の送受信、テレビの視聴、携帯電話の充電及び照明器具の使用等に一定の電力を確保することが可能となり、施設機能面から避難所運営を支援することができた。</p> <p>市内すべての避難所となる学校施設の防災機能を強化するため、今後も事業を継続する必要がある。</p>																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																									
	317,189,000	222,851,520	71,558,000	142,700,000	1,887,405	6,706,115																																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画		
	2 項	小学校費		第 節				
	3 項	中学校費						
	4 目	東日本大震災関係費		()				
実施計画掲載ページ			中 事 業	雄勝地区小学校統合移転新築事業費 雄勝地区中学校統合移転新築事業費				
事業コード			事 業 名	雄勝地区統合小・中学校移転新築事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災した雄勝小学校、船越小学校及び雄勝中学校の移転新築を実施する。 なお、船越小学校は平成25年4月に雄勝小学校へ統合済み。 また、大須小学校と大須中学校は、併設校開校時にそれぞれ統合する。</p> <p>・災害復旧事業：校舎、屋内運動場、プール、テニスコート、グラウンド等（別事業に掲載） ・復興交付金事業：県道側溝改修、道路照明、散策路、植栽、太陽光発電設備等</p>						
取組実績		<p>平成25年度 ・雄勝地区統合小・中学校建設基本構想検討委員会を開催し、基本構想を策定。</p> <p>平成26年度 ・県道側溝改修工事基本実施設計 ・県道側溝改修工事及び工事監理</p> <p>平成27年度 ・土木外構工事実施設計（散策路、植栽） ・県道側溝改修工事及び工事監理</p> <p>平成28年度 ・土木外構工事及び工事監理</p> <p>平成29年度 ・土木外構工事、県道側溝改修工事、道路照明工事、太陽光発電設備工事等及び工事監理</p>						
成 果		平成29年7月に事業完了。同8月より供用開始した。						
成果に係る評価		平成29年7月に事業完了。同8月より供用開始し、2学期から新校舎で授業を開始できた。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	62,719,248		59,957,688				42,544,000	17,413,688

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																
	2 項	小学校費		第 節			()																
	4 目	東日本大震災関係費		()			()																
	実施計画掲載ページ				中 事 業		蛇田小学校屋内運動場改築事業費																
事業コード			事 業 名	蛇田小学校屋内運動場改築事業																			
目的及び事業内容		<p>蛇田小学校の屋内運動場は老朽化が著しく進行していることから、平成25年度に耐力度調査を実施した。その結果、倒壊の恐れのある危険建物であるとの調査内容であったため改築を実施し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。 平成28年度に新屋内運動場の建設は完了し、平成29年度において、旧屋内運動場の解体工事を実施するものである。</p>																					
取組実績		<p>平成29年度は繰越事業となった旧屋内運動場の解体工事が完了した。</p> <p>1 全体事業 (1) 平成25年度 耐力度調査 (2) 平成26年度 地質調査、実施設計（H26→H27繰越明許・完了） (3) 平成27・28年度 建設工事・監理（継続事業） (4) 平成28・29年度 旧屋内運動場解体工事（H28→H29繰越明許・完了）</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H29予算額 (繰越分のみ)</th> <th>H29事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手数料</td> <td>500,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>解体監理</td> <td>2,000,000</td> <td>612,805</td> </tr> <tr> <td>解体工事</td> <td>17,182,000</td> <td>11,646,038</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,682,000</td> <td>12,258,843</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H29予算額 (繰越分のみ)	H29事業費	手数料	500,000	0	解体監理	2,000,000	612,805	解体工事	17,182,000	11,646,038	計	19,682,000	12,258,843
内訳	H29予算額 (繰越分のみ)	H29事業費																					
手数料	500,000	0																					
解体監理	2,000,000	612,805																					
解体工事	17,182,000	11,646,038																					
計	19,682,000	12,258,843																					
成 果		危険建物と判断された旧屋内運動場の解体が完了し、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう改善が図られた。																					
成果に係る評価		平成29年度の旧屋内運動場の解体工事をもって今回の事業計画は完了となった。しかしながら、右巻市内の屋内運動場は昭和40年代から60年代にかけて整備された建物が多く、老朽化も進行していることから、児童の教育環境の改善を図るため、引き続き事業の継続が必要となる。また、事業の継続に際し、老朽化の進行具合だけでなく、現状の児童数に対する施設の規模や将来的な人口動態等を勘案し、適切な整備方針の検討を続ける。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	19,682,000		12,258,843		11,110,000	1,000,000		148,843															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 項	小学校費				(1)	未来の人を育てる
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P204	中 事 業		北上小学校移転新築事業費		
事業コード		004-101-001-00896	事 業 名		北上小学校移転新築事業〔復興交付金〕		
目的及び事業内容		<p>相川小学校、吉浜小学校及び橋浦小学校を統合して開校した北上小学校を、東日本大震災により被災した相川小学校及び吉浜小学校の災害復旧事業として高台に移転新築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧事業：校舎、屋内運動場、プール、グラウンド等 ・復興交付金事業：太陽光発電設備（別事業に掲載） 					
取 組 実 績		<p>平成26年度実績 ・北上小学校建設基本構想検討委員会を設置し、建設基本構想・基本計画を策定。</p> <p>平成29年度実績 ・北上小学校移転新築工事設計業務プロポーザル選定委員会を設置し、設計者を選定。 ・設計業務（太陽光発電設備）</p>					
成 果		計画どおり各業務に着手し、滞りなく履行されている。					
成果に係る評価		設計業務を発注するに当たり、より優れた設計者を選定するためプロポーザル方式を採用したことにより、計画どおり設計業務を遂行することができた。 今後も関係各所と調整を図りながら、平成32年4月供用開始に向け、計画的に事業を推進していく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,318,668	1,318,668			680,000	638,668	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	()	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち														
	3 項	中学校費				第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する	()													
	1 目	学校管理費				(3)	充実した教育を行える環境をつくる	()													
実施計画掲載ページ		P23	中 事 業		中学校管理費（教育総務課）																
事業コード		002-001-003-00217	事 業 名		遠距離通学支援事業（中学校）																
目的及び事業内容		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス等の運行 																			
取 組 実 績		<p>中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。</p> <p>スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H28</td> <td>3校</td> <td>72人</td> <td>41,260,879 円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4校</td> <td>73人</td> <td>51,388,039 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H29） 荻浜中学校、雄勝中学校、北上中学校、牡鹿中学校</p>						区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	H28	3校	72人	41,260,879 円	H29	4校	73人	51,388,039 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																	
スクールバス等	H28	3校	72人	41,260,879 円																	
	H29	4校	73人	51,388,039 円																	
成 果		平成29年4月の雄勝中学校と大須中学校の学校統合により新たに路線を追加するなど、中学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保が図られた。																			
成果に係る評価		通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保を図るため、引き続き、地域の実情に配慮しながら適正な通学支援を実施する必要がある。																			
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	55,587,000	51,388,039	31,160,586			20,227,453															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ		P 25	中 事 業	中学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内中学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。							
取 組 実 績	中学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度	整備内容						
	H24	石巻地区 6校： 293台	電子黒板（大型モニタ）	石巻地区 6校： 24台	タブレット（指導者用）			
	H25	石巻地区 3校： 130台	石巻地区 3校： 9台	—				
	H26	雄勝地区 2校： 15台	雄勝地区 2校： 4台	—				
	H28	北上地区 1校： 41台	北上地区 1校： 2台	—				
	H29	石巻地区 2校： 55台	石巻地区 2校： 6台	—				
		河北地区 2校： 71台	河北地区 2校： 9台	河北地区 2校： 9台	—			
		桃生地区 1校： 39台	桃生地区 1校： 6台	桃生地区 1校： 6台	—			
		河南地区 2校： 82台	河南地区 2校： 15台	河南地区 2校： 15台	—			
		牡鹿地区 1校： 19台	牡鹿地区 1校： 3台	牡鹿地区 1校： 3台	—			
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 ・平成28年度より教育用コンピューターの更新に合わせ、タブレットを整備している。平成29年度は18台整備した。 							
成果に係る評価	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会に必要な知識を習得するため、これからの学習活動を支えるICT機器等[大型提示装置（電子黒板等）、学習者用コンピューター（タブレット）等]や無線LAN環境の整備を進めてきたが、文部科学省が新たに策定した「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」に基づき、タブレットの整備台数を増やす等、より一層整備を進める必要がある。 ・デジタル教科書の活用や電子黒板等の整備台数を増やしたことにより、多くの教員がICT機器を活用する機会が増え、ICT活用能力向上が図られた。 							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	62,547,000	61,515,364				61,515,364		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																				
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																				
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																				
実施計画掲載ページ		P 24	中 事 業	中学校教育振興援助費																							
事業コード	002-001-003-00222		事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																							
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者の経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成 																										
取 組 実 績	1 就学援助費																										
	<p>中学校：認定者数 441名 / 生徒数 3,760名 (11.73%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>10,450,027 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>221,378 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>874,489 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学生用品費</td><td>6,730,800 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>5,356,200 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>8,853,785 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>21,292,549 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>238,530 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>54,017,758 円</td></tr> </table>								学用品費	10,450,027 円	校外活動費（宿泊なし）	221,378 円	校外活動費（宿泊あり）	874,489 円	通学費	0 円	新入学生用品費	6,730,800 円	新入学準備金	5,356,200 円	修学旅行費	8,853,785 円	給食費	21,292,549 円	医療費	238,530 円	計
学用品費	10,450,027 円																										
校外活動費（宿泊なし）	221,378 円																										
校外活動費（宿泊あり）	874,489 円																										
通学費	0 円																										
新入学生用品費	6,730,800 円																										
新入学準備金	5,356,200 円																										
修学旅行費	8,853,785 円																										
給食費	21,292,549 円																										
医療費	238,530 円																										
計	54,017,758 円																										
取 組 実 績	2 特別支援教育就学奨励費																										
	<p>中学校：認定者数 51名 / 生徒数 3,760名 (1.36%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>368,280 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>6,270 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>44,124 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>169,177 円</td></tr> <tr><td>新入学生用品費</td><td>260,700 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>384,229 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>802,650 円</td></tr> <tr><td>交流学習交通費</td><td>41,400 円</td></tr> <tr><td>職場実習交通費</td><td>5,161,820 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>7,238,650 円</td></tr> </table>								学用品費	368,280 円	校外活動費（宿泊なし）	6,270 円	校外活動費（宿泊あり）	44,124 円	通学費	169,177 円	新入学生用品費	260,700 円	修学旅行費	384,229 円	給食費	802,650 円	交流学習交通費	41,400 円	職場実習交通費	5,161,820 円	計
学用品費	368,280 円																										
校外活動費（宿泊なし）	6,270 円																										
校外活動費（宿泊あり）	44,124 円																										
通学費	169,177 円																										
新入学生用品費	260,700 円																										
修学旅行費	384,229 円																										
給食費	802,650 円																										
交流学習交通費	41,400 円																										
職場実習交通費	5,161,820 円																										
計	7,238,650 円																										
成 果	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。</p> <p>就学援助の新入学生用品費について、制服や運動着等の購入で出費がかさむ入学前に、新入学準備金を支給できるよう要綱等を改め、生徒の保護者の就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。</p>																										
成果に係る評価	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての生徒の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。</p>																										
（単位：円）																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																					
	65,115,000	61,256,408	3,983,500			57,272,908																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																	
実施計画掲載ページ		P 24	中 事 業	中学校図書整備事業費																																																				
事業コード	002-001-003-00239	事 業 名	学校図書整備事業（中学校）																																																					
目的及び事業内容	<p>全国的に小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を「学校図書館図書整備5か年計画」として策定し、整備を推進した。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p> <p>また、文部科学省は更なる学校図書館の整備充実のため平成29年度から平成33年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備等5か年計画」として策定、蔵書の計画的な更新を図っていく。</p>																																																							
取組実績	<p>市内全ての中学校において、平成31年度末に学校図書館図書標準に対する充足率が100%となることを目標とし、充足率の低い学校に予算を重点配分し充足率の向上に努めた。</p> <p>平成29年度においては、前年度と比較して整備冊数は減となったが、生徒の読書活動や学習活動等に役立つ図書を購入するなど質の向上を図った。</p>																																																							
	<p>＜中学校図書の整備冊数＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>7,832冊</td> <td>17,497冊</td> <td>12,477冊</td> <td>12,314冊</td> <td>9,523冊</td> <td>9,056冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p> <p>◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文科省で定めた公立の義務教育諸学校において学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。</p>									H24	H25	H26	H27	H28	H29		7,832冊	17,497冊	12,477冊	12,314冊	9,523冊	9,056冊																																		
	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																		
	7,832冊	17,497冊	12,477冊	12,314冊	9,523冊	9,056冊																																																		
成 果	<p>学校図書の整備充実に努めたことにより、読書活動や学習活動に積極的に活用され、知識が広がり教育の基盤である言語能力の育成に寄与できた。</p> <p>充足率の低い学校へ予算を重点配分した結果、充足率の向上と学習活動を支援する図書が整備できた。</p>																																																							
	<p>＜中学校図書充足率達成状況＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成率</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>2校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>2校</td> <td>6校</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>4校</td> <td>5校</td> <td>7校</td> <td>11校</td> <td>7校</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>12校</td> <td>9校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>6校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>4校</td> <td>2校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計（B）</td> <td>21校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合（A/B）</td> <td>9.52%</td> <td>15.00%</td> <td>15.00%</td> <td>10.00%</td> <td>30.00%</td> <td>36.84%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度末時点</p>								達成率	H24	H25	H26	H27	H28	H29	100%以上（A）	2校	3校	3校	2校	6校	7校	75%以上-100%未満	4校	5校	7校	11校	7校	7校	50%以上-75%未満	12校	9校	6校	5校	6校	5校	50%未満	3校	3校	4校	2校	1校	0校	合計（B）	21校	20校	20校	20校	20校	19校	100%以上達成校の割合（A/B）	9.52%	15.00%	15.00%	10.00%	30.00%
達成率	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																		
100%以上（A）	2校	3校	3校	2校	6校	7校																																																		
75%以上-100%未満	4校	5校	7校	11校	7校	7校																																																		
50%以上-75%未満	12校	9校	6校	5校	6校	5校																																																		
50%未満	3校	3校	4校	2校	1校	0校																																																		
合計（B）	21校	20校	20校	20校	20校	19校																																																		
100%以上達成校の割合（A/B）	9.52%	15.00%	15.00%	10.00%	30.00%	36.84%																																																		
成果に係る評価	<p>充足率100%を達成した学校数は前年度から1校増え、全体の充足率もゆるやかではあるが着実に向上した。平成29年度には渡波中学校、雄勝中学校が仮設校舎から本設校舎へ移転し、図書設置スペースが確保されたことから、より一層の充実を図っていきたい。</p> <p>中学校全体の充足率達成を目指しながら、広い視野で学べる読書環境の整備と最新の情報や正しい情報を提供し学習環境を整えるため、計画的な図書の更新を図っていききたい。</p>																																																							
（単位：円）																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	16,000,000	15,947,925			15,000,000	947,925																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																																																																														
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																																																																																														
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()																																																																																																														
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	中学校施設老朽化対策事業費																																																																																																																	
事業コード	002-001-003-01028	事 業 名	中学校校舎老朽化対策事業																																																																																																																		
目的及び事業内容	<p>老朽化が著しく進行している学校施設について屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																																																																																																				
取組実績	<p>老朽化が著しく進行している中学校2校について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。また、平成30年度の工事着手を予定している河北中学校の設計業務を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事（繰越事業） 福井中学校、桃生中学校 ※桃生中学校は工事契約後に既存外壁の調査を行ったところ、アスベストが検出された。追加工事として、飛散防止等の対策を行ったことが影響し、平成30年度に繰越となった。 (平成30年4月完了。)</p> <p>(2) 設計（平成30年度工事着手予定） 河北中学校</p>																																																																																																																				
	<p>2 科目別予算額・事業費内訳 （単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="2">H29予算額</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th colspan="2">H29事業費</th> <th colspan="2">繰越分</th> <th colspan="2">現年度分</th> <th rowspan="2">H30繰越</th> </tr> <tr> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td></td> <td>100,000</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>2,000,000</td> <td></td> <td>2,000,000</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>9,720,000</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>9,720,000</td> <td></td> <td>9,720,000</td> <td>0</td> <td>9,720,000</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>22,500,000</td> <td></td> <td>22,500,000</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>2,403,000</td> <td>2,403,000</td> <td>0</td> <td></td> <td>4,530,600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>377,071,000</td> <td></td> <td>292,280,000</td> <td></td> <td>84,791,000</td> <td></td> <td>213,469,200</td> <td>213,469,200</td> <td>0</td> <td></td> <td>149,143,040</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>411,391,000</td> <td></td> <td>316,880,000</td> <td></td> <td>94,511,000</td> <td></td> <td>225,692,200</td> <td>215,972,200</td> <td>9,720,000</td> <td></td> <td>153,673,640</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								費目	H29予算額		繰越分		現年度分		H29事業費		繰越分		現年度分		H30繰越													消耗品費	100,000		100,000		0		100,000	100,000	0		0		0	手数料	2,000,000		2,000,000		0		0	0	0		0		0	設計	9,720,000		0		9,720,000		9,720,000	0	9,720,000		0		0	監理	22,500,000		22,500,000		0		2,403,000	2,403,000	0		4,530,600			工事	377,071,000		292,280,000		84,791,000		213,469,200	213,469,200	0		149,143,040			計	411,391,000		316,880,000		94,511,000		225,692,200	215,972,200	9,720,000		153,673,640	
費目	H29予算額		繰越分		現年度分		H29事業費			繰越分		現年度分		H30繰越																																																																																																							
消耗品費	100,000		100,000		0		100,000	100,000	0		0		0																																																																																																								
手数料	2,000,000		2,000,000		0		0	0	0		0		0																																																																																																								
設計	9,720,000		0		9,720,000		9,720,000	0	9,720,000		0		0																																																																																																								
監理	22,500,000		22,500,000		0		2,403,000	2,403,000	0		4,530,600																																																																																																										
工事	377,071,000		292,280,000		84,791,000		213,469,200	213,469,200	0		149,143,040																																																																																																										
計	411,391,000		316,880,000		94,511,000		225,692,200	215,972,200	9,720,000		153,673,640																																																																																																										
成 果	<p>老朽化が著しく進行している中学校2校のうち、福井中学校は屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施したことにより、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。</p> <p>桃生中学校については、全体的な工事の完了は平成30年度に繰越となったものの、トイレ洋式化工事等一部の工事は平成29年度内に完了したことから、生徒の教育環境の一部改善が図られた。</p>																																																																																																																				
成果に係る評価	<p>平成29年度は中学校2校の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに生徒の教育環境の改善が図られた。しかしながら、市内には同様の工事を必要とする中学校があることから、設計が完了している河北中学校を含めて引き続き事業を継続する必要がある。</p> <p>また、現状では主に屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施しているが、改修を行っていない箇所や設備機器等もあることから、整備手法や費用について定期的に見直しを図りながら、適切な改修方法を検討する。</p>																																																																																																																				
（単位：円）																																																																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																															
	257,717,360	225,692,200	60,761,000	149,400,000		15,531,200																																																																																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	()																			
	3 項	中学校費		第 節		()																			
	3 目	学校建設費		()		()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	湊中学校水泳プール改築事業費																					
事業コード			事 業 名	湊中学校水泳プール改築事業																					
目的及び事業内容		湊中学校の水泳プールは、施設に亀裂等の損傷が見られ、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況であるため、早急な改築が必要なことから、平成28年度から平成29年度にかけて改築工事を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。																							
取組実績		<p>平成29年度内に改築工事が完了した。</p> <p>1 全体事業 (1) 平成28年度 地質調査、実施設計 (2) 平成28・29年度 改築工事（H28→H29繰越明許・完了）</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳（単位：円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>H29予算額 (繰越分のみ)</th> <th>H29事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>1,000,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>7,000,000</td> <td>2,770,200</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>214,380,000</td> <td>97,552,160</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>222,430,000</td> <td>100,372,360</td> </tr> </tbody> </table>						内 訳	H29予算額 (繰越分のみ)	H29事業費	消耗品費	50,000	50,000	手数料	1,000,000	0	監理	7,000,000	2,770,200	工事	214,380,000	97,552,160	計	222,430,000	100,372,360
内 訳	H29予算額 (繰越分のみ)	H29事業費																							
消耗品費	50,000	50,000																							
手数料	1,000,000	0																							
監理	7,000,000	2,770,200																							
工事	214,380,000	97,552,160																							
計	222,430,000	100,372,360																							
成 果		亀裂等の損傷が見受けられた既存プールの改築工事が完了し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう改善が図られた。																							
成果に係る評価		平成29年度の改築工事をもって今回の事業計画は完了となった。しかしながら、石巻市内の水泳プールは整備後30年以上が経過しているものも多く、設備機器の老朽化も進行していることから、生徒の教育環境の改善を図るため、引き続き事業の継続が必要となる。また、事業の継続に際し、老朽化の進行具合だけでなく、将来的な人口動態等を考慮しながら、適切な整備方針の検討を続ける。																							
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	222,430,000	100,372,360	17,779,000	78,400,000		4,193,360																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																
実施計画掲載ページ		P201	中 事 業	被災生徒通学支援事業費																																			
事業コード		004-101-001-00480	事 業 名	被災生徒通学支援事業（中学校）																																			
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し通学区の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替え校スクールタクシーの運行 ・仮設住宅スクールバス等の運行 ・通学路安全対策スクールバスの運行 																																					
取組実績		<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し通学区の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>延べ学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールタクシー</td> <td>1 校</td> <td>9 人</td> <td>5,771,280 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>7 校</td> <td>33 人</td> <td>23,243,960 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス</td> <td>1 校</td> <td>36 人</td> <td>21,721,192 円</td> </tr> <tr> <td>スクールバス関連経費※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>356,400 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9 校</td> <td>78 人</td> <td>51,092,832 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※渡波中学校用スクールバス乗降場所修繕経費</p> <p>(支援状況)</p> <p>代替え校スクールタクシー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北中学校</td> <td>旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>通学路安全対策バス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊中学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table> <p>※仮設住宅スクールバス等利用生徒在籍校（H29） 石巻中学校、門脇中学校、湊中学校、渡波中学校、青葉中学校 雄勝中学校、北上中学校</p>						区 分	延べ学校数	対象人数	金 額	代替え校スクールタクシー	1 校	9 人	5,771,280 円	仮設住宅スクールバス等	7 校	33 人	23,243,960 円	通学路安全対策バス	1 校	36 人	21,721,192 円	スクールバス関連経費※	—	—	356,400 円	計	9 校	78 人	51,092,832 円	学校名	状 況	河北中学校	旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行	学校名	状 況	湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行
区 分	延べ学校数	対象人数	金 額																																				
代替え校スクールタクシー	1 校	9 人	5,771,280 円																																				
仮設住宅スクールバス等	7 校	33 人	23,243,960 円																																				
通学路安全対策バス	1 校	36 人	21,721,192 円																																				
スクールバス関連経費※	—	—	356,400 円																																				
計	9 校	78 人	51,092,832 円																																				
学校名	状 況																																						
河北中学校	旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行																																						
学校名	状 況																																						
湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																						
成 果		東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し通学区の学校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、利用状況に応じたスクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																																					
成果に係る評価		東日本大震災により通学支援が必要となった生徒の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。引き続き、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を実施する必要がある。																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	54,555,000	51,092,832	46,305,732			4,787,100																																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																				
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																				
実施計画掲載ページ	P201		中 事 業	被災生徒就学支援事業費																							
事業コード	004-101-001-00481		事 業 名	被災生徒就学支援事業（中学校）																							
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学困難となった生徒の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、生徒の就学の機会を確保する。（支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯 ・世帯収入が著しく減少した世帯 ・原子力発電所の事故により避難してきた世帯 																										
取組実績	<p>1 就学援助費 中学校：認定者数 1,136名 / 生徒数 3,760名 (30.21%)</p> <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>26,991,510 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊なし)</td><td>450,019 円</td></tr> <tr><td>校外活動費(宿泊あり)</td><td>2,010,807 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>16,969,200 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>9,622,200 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>25,337,057 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>55,222,382 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>91,340 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>136,694,515 円</td></tr> </table>							学用品費	26,991,510 円	校外活動費(宿泊なし)	450,019 円	校外活動費(宿泊あり)	2,010,807 円	通学費	0 円	新入学学用品費	16,969,200 円	新入学準備金	9,622,200 円	修学旅行費	25,337,057 円	給食費	55,222,382 円	医療費	91,340 円	計	136,694,515 円
	学用品費	26,991,510 円																									
校外活動費(宿泊なし)	450,019 円																										
校外活動費(宿泊あり)	2,010,807 円																										
通学費	0 円																										
新入学学用品費	16,969,200 円																										
新入学準備金	9,622,200 円																										
修学旅行費	25,337,057 円																										
給食費	55,222,382 円																										
医療費	91,340 円																										
計	136,694,515 円																										
成 果	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒の保護者に対して就学援助費を支給することにより、経済的な負担を軽減することができた。 就学援助の新入学学用品費について、制服や運動着等の購入で出費がかさむ入学前に、新入学準備金を支給できるよう要綱等を改め、生徒の保護者の就学前の経済的不安や負担軽減を図ることができた。 被災者の再建状況を踏まえ、被災生徒就学援助費の認定基準について検討し、平成30年度より認定基準に所得要件を加え、均等な教育機会の提供ができるよう見直しを行った。</p>																										
成果に係る評価	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難な生徒の就学機会を確保するために、今後も継続した支援が必要である。</p>																										
予算の執行状況	(単位：円)																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	136,909,000	136,694,515	136,694,515																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																							
	3 項	中学校費		第 節		(1)	未来の人を育てる																																																							
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																							
実施計画掲載ページ	P203		中 事 業	中学校防災機能強化事業費																																																										
事業コード	004-101-001-00989		事 業 名	中学校防災機能強化事業																																																										
目的及び事業内容	<p>屋内運動場等の吊り天井、照明器具等の落下防止のため、天井撤去、補強、落下防止策等の改修工事を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。</p>																																																													
取組実績	<p>屋内運動場等の天井等の落下防止対策が必要な中学校2校4棟について、改修工事を実施した。 また、平成30年度の工事着手を予定している中学校3校3棟の設計業務を実施した。</p> <p>1 実施校 (1) 工事（線越事業） 河南東中学校（講堂・武道場）、河南西中学校（講堂・武道場） (2) 設計 住吉中学校（講堂）、門脇中学校（武道場）、青葉中学校（講堂）</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">費目</th> <th colspan="2">H29予算額</th> <th colspan="2">H29事業費</th> <th colspan="2">H30繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>4,000,000</td> <td>2,000,000</td> <td>2,000,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,000,000</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>11,281,000</td> <td>0</td> <td>11,281,000</td> <td>11,280,600</td> <td>11,280,600</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>32,600,000</td> <td>17,000,000</td> <td>15,600,000</td> <td>5,648,400</td> <td>5,648,400</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>668,200,000</td> <td>365,000,000</td> <td>303,200,000</td> <td>257,266,800</td> <td>257,266,800</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>716,181,000</td> <td>384,050,000</td> <td>332,131,000</td> <td>274,245,800</td> <td>262,965,200</td> <td>11,280,600</td> </tr> </tbody> </table>							費目	H29予算額		H29事業費		H30繰越		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	100,000	50,000	50,000	50,000	0	50,000	手数料	4,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	2,000,000	設計	11,281,000	0	11,281,000	11,280,600	11,280,600	0	監理	32,600,000	17,000,000	15,600,000	5,648,400	5,648,400	0	工事	668,200,000	365,000,000	303,200,000	257,266,800	257,266,800	0	計	716,181,000	384,050,000	332,131,000	274,245,800	262,965,200	11,280,600
	費目	H29予算額		H29事業費		H30繰越																																																								
繰越分		現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																								
消耗品費	100,000	50,000	50,000	50,000	0	50,000																																																								
手数料	4,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	2,000,000																																																								
設計	11,281,000	0	11,281,000	11,280,600	11,280,600	0																																																								
監理	32,600,000	17,000,000	15,600,000	5,648,400	5,648,400	0																																																								
工事	668,200,000	365,000,000	303,200,000	257,266,800	257,266,800	0																																																								
計	716,181,000	384,050,000	332,131,000	274,245,800	262,965,200	11,280,600																																																								
成 果	<p>屋内運動場等の天井等の落下防止対策が必要な中学校2校について改修工事を実施し、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。 なお、平成30年度に工事着手を予定している中学校3校3棟については、補助金交付決定等の都合上、平成29年度補正予算措置をしたが、予算を繰越した上で、当初の計画通り平成30年度内の完了を予定している。</p>																																																													
成果に係る評価	<p>日常時の学校生活において生徒の安全を守るため、さらには災害発生時において避難所としての機能を維持するため、天井等の落下防止対策は引き続き継続していく必要がある。</p>																																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	395,331,000	274,245,800	92,029,000	173,000,000		9,216,800																																																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																															
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																															
	1 目	学校管理費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																															
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業		高等学校保健費																																	
事業コード		002-001-002-00219 002-001-002-00221	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（高等学校） 学校医・薬剤師配置事業（高等学校）																																	
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、桜坂高等学校に学校医等を配置し、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施 																																				
取組実績		<p>1 学校医の配置 桜坂高等学校に学校医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校医の人数 <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>1 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>1 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>1 人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 桜坂高等学校に学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱した学校薬剤師の人数 <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>1 人</td> </tr> </table> <p>3 定期健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全学年</td> <td>結核検診</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全学年</td> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>1年生</td> <td>尿検査</td> <td>全学年</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全学年</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 飲料水水質検査の実施 桜坂高等学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。</p>							内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人	眼 科 医	1 人	歯 科 医	1 人	薬 剤 師	1 人	項目	学年	項目	学年	内科健診	全学年	結核検診	全学年	眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生	耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年	歯科健診	全学年		
内 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	1 人																																			
眼 科 医	1 人	歯 科 医	1 人																																			
薬 剤 師	1 人																																					
項目	学年	項目	学年																																			
内科健診	全学年	結核検診	全学年																																			
眼科健診	全学年	心臓病検診	1年生																																			
耳鼻科健診	1年生	尿検査	全学年																																			
歯科健診	全学年																																					
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、保護者、桜坂高等学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p> <p>1 定期健康診断 高校生 505人 心臓病検診 1年生 179人</p> <p>2 飲料水水質検査 高等学校 1校</p>																																				
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、生徒に対して的確な予防指導を行っていく上で重要である。今後も学校医、学校、保護者等相互の連携を密にし、生徒の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
		2,481,728	2,372,261				2,372,261																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画			復興計画	()																						
	4 項	高等学校費					()																						
	1 目	学校管理費					()																						
実施計画掲載ページ			中 事 業		桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業費																								
事業コード			事 業 名		桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業																								
目的及び事業内容		<p>【事業内容】 人間力を高め、生徒一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践するため、必要な事業を実施する。</p> <p>【事業目的】 県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指すとともに、桜坂高校の魅力内外に強くPRすることで募集定員を確保する。</p>																											
取組実績		<p>1 各種講座等</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 小笠原流礼法指導</td> <td>全学年</td> <td>各1回実施</td> </tr> <tr> <td>(2) 公務員試験講座</td> <td></td> <td>5回実施</td> </tr> <tr> <td>(3) 進路指導教員研修</td> <td></td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(4) 進学就職のための各種講座（模擬面接、メイクアップ教室）</td> <td></td> <td>各1回実施</td> </tr> <tr> <td>(5) 先輩の話を聞く会</td> <td>1、2年生</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(6) 親教育講話</td> <td>3年生</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(7) 桜坂タイム関連講座</td> <td>各学年</td> <td>合計5回実施</td> </tr> </table> <p>イ まちなかポスタープロジェクト 1学年 ロ さくらプロジェクト 2学年 ハ 市役所プロジェクト 3学年</p> <p>(8) 教職員進路指導研修会 1回実施</p> <p>2 開校記念講話 講師 ウェイトリフティング競技オリンピックメダリスト 三宅 宏美</p> <p>3 進路ガイダンス参加 オープンキャンパス、夢ナビライブ、就職説明会等</p>							(1) 小笠原流礼法指導	全学年	各1回実施	(2) 公務員試験講座		5回実施	(3) 進路指導教員研修		1回実施	(4) 進学就職のための各種講座（模擬面接、メイクアップ教室）		各1回実施	(5) 先輩の話を聞く会	1、2年生	1回実施	(6) 親教育講話	3年生	1回実施	(7) 桜坂タイム関連講座	各学年	合計5回実施
(1) 小笠原流礼法指導	全学年	各1回実施																											
(2) 公務員試験講座		5回実施																											
(3) 進路指導教員研修		1回実施																											
(4) 進学就職のための各種講座（模擬面接、メイクアップ教室）		各1回実施																											
(5) 先輩の話を聞く会	1、2年生	1回実施																											
(6) 親教育講話	3年生	1回実施																											
(7) 桜坂タイム関連講座	各学年	合計5回実施																											
成 果		<p>1 各種講座等について 将来の夢の実現のために、各方面から講師を招いて講座等を実施した。 特に、礼法指導の基礎を学び、品格教育の充実が図られたことや、公務員を志望する生徒のための公務員試験講座や、コミュニケーション能力を高めるための講座などに加え、地域に貢献できる人材の育成を図るための事業として、総合的な学習の時間において「桜坂タイム」を全学年で実施し成果をまとめたことは、魅力ある学校づくり事業の発展につながったと言える。</p> <p>2 開校記念講話について 世界で活躍する女性アスリートの話を聞き、未来の実現に向けて明るい希望を開くことができた。</p> <p>3 進路ガイダンス参加について 大学のオープンキャンパスや進学、就職合同説明会等に参加することで、進路目標を具体的に考える良い機会となった。</p>																											
成果に係る評価		<p>本事業の実施により、「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」の充実を図ることができた。 また、各種事業をとおして、桜坂高校を知ってもらう機会が増えているが、募集定員に満たないコースもあり、今後も事業の推進を図り定員を確保していく必要がある。</p>																											
(単位：円)																													
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
		4,290,000	2,475,731				2,475,731																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P25		中 事 業	高等学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（高等学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内高等学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を図る。							
取 組 実 績	高等学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度	整備内容						
		教育用コンピューター	電子黒板	タブレット				
H26	市立女子商	86台	市立女子高（桜坂高）	17台	—			
H27	桜坂高	3台	桜坂高	2台	桜坂高	123台		
	※ 平成26年度に市立女子商高へ整備したPC室用コンピューター86台は、平成27年3月に市立女子高（現桜坂高）へ移設。 ※ 電子黒板17台については、高等学校統合整備事業費（備品購入費）で整備。 ※ 28～29年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。							
成 果	・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。							
成果に係る評価	・高等学校の教育用コンピューターについては、学校の教育課程に則した機器を考察・選定し、計画的に整備している。 ・多くの教員がICT機器に触れる機会が増え、活用能力の向上が図られた。 ・整備後4年が経過し、故障頻度が増加してくることから、授業に支障が生じないように機器の保守に努めていきたい。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	13,709,000	13,616,062				13,616,062		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																
実施計画掲載ページ	P19		中 事 業	幼稚園保健費																			
事業コード	002-001-002-00219 002-001-002-00221		事 業 名	健康診断・検査等実施事業（幼稚園） 学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）																			
目的及び事業内容	学校保健安全法に基づき、市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・幼稚園医の配置 ・幼稚園薬剤師の配置 ・定期健康診断の実施 ・飲料水水質検査の実施																						
取 組 実 績	1 幼稚園医の配置																						
	市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医（内科、眼科、耳鼻科、歯科）を委嘱し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施した。 ・委嘱した幼稚園医の人数 <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>5 人</td> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>3 人</td> <td>歯 科 医</td> <td>4 人</td> </tr> </table>								内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人	眼 科 医	3 人	歯 科 医	4 人							
内 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	3 人																				
眼 科 医	3 人	歯 科 医	4 人																				
取 組 実 績	2 幼稚園薬剤師の配置																						
	市立幼稚園及び湊こども園に薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施した。 ・委嘱した幼稚園薬剤師の人数 <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>5 人</td> </tr> </table>								薬 剤 師	5 人													
薬 剤 師	5 人																						
取 組 実 績	3 定期健康診断検査項目及び対象学年																						
	<table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> </tbody> </table>				項目	学年	内科健診	全幼児	眼科健診	全幼児	耳鼻科健診	全幼児	歯科健診	全幼児	<table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核検診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>尿検査</td> <td>全幼児</td> </tr> </tbody> </table>				項目	学年	結核検診	全幼児	尿検査
項目	学年																						
内科健診	全幼児																						
眼科健診	全幼児																						
耳鼻科健診	全幼児																						
歯科健診	全幼児																						
項目	学年																						
結核検診	全幼児																						
尿検査	全幼児																						
取 組 実 績	4 飲料水水質検査の実施																						
	市立幼稚園及び湊こども園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を実施した。																						
成 果	各健康診断・検査を行い、保護者、市立幼稚園及び湊こども園に対しての確かな指導と助言が行われ、幼児の健全な育成や健康の保持増進が図られた。 また、施設内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。																						
成 果	1 定期健康診断	園児	249人																				
	2 飲料水水質検査	幼稚園、こども園	5園																				
成果に係る評価	市立幼稚園及び湊こども園に幼稚園医等を配置し、定期健康診断、健康相談及び衛生点検を実施することは、幼児に対しての確かな予防指導を行っていく上で重要である。今後も幼稚園医、市立幼稚園及び湊こども園、保護者等相互の連携を密にし、幼児の健全育成のため発達段階に応じた健康教育を推進していくことが大切であり、事業を引き続き実施する必要がある。																						
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	3,158,032	3,047,622				3,047,622																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																		
	5 項	幼稚園費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																																		
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																																		
実施計画掲載ページ		P 20	中 事 業	私立幼稚園就園奨励費																																					
事業コード		002-001-002-00223	事 業 名	私立幼稚園就園奨励費助成事業																																					
目的及び事業内容		私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い世帯、多子世帯及びひとり親等世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。 ・私立幼稚園就園奨励費の助成																																							
取組実績		市内に居住している園児の入園料、保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活保護世帯</td><td>1人</td><td>230,400円</td></tr> <tr><td>市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）</td><td>43人</td><td>9,325,200円</td></tr> <tr><td>市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）</td><td>31人</td><td>6,541,700円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）</td><td>37人</td><td>8,186,600円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）</td><td>4人</td><td>798,000円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）</td><td>213人</td><td>38,420,200円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）</td><td>21人</td><td>4,761,600円</td></tr> <tr><td>市民税所得割額211,200円以下の世帯</td><td>534人</td><td>57,382,200円</td></tr> <tr><td>上記以外の世帯</td><td>86人</td><td>14,077,600円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>970人</td><td>139,723,500円</td></tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	生活保護世帯	1人	230,400円	市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	43人	9,325,200円	市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）	31人	6,541,700円	市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	37人	8,186,600円	市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）	4人	798,000円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）	213人	38,420,200円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）	21人	4,761,600円	市民税所得割額211,200円以下の世帯	534人	57,382,200円	上記以外の世帯	86人	14,077,600円	合計	970人	139,723,500円
区分	対象人数	補助金額																																							
生活保護世帯	1人	230,400円																																							
市民税非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	43人	9,325,200円																																							
市民税非課税世帯（ひとり親世帯等）	31人	6,541,700円																																							
市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等除く）	37人	8,186,600円																																							
市民税所得割額非課税世帯（ひとり親世帯等）	4人	798,000円																																							
市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等除く）	213人	38,420,200円																																							
市民税所得割額 77,100円以下の世帯（ひとり親世帯等）	21人	4,761,600円																																							
市民税所得割額211,200円以下の世帯	534人	57,382,200円																																							
上記以外の世帯	86人	14,077,600円																																							
合計	970人	139,723,500円																																							
成 果		私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い世帯、多子世帯及びひとり親等世帯の保護者を対象に、私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。 <p>(補助内訳)</p> 就園奨励費補助金 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>904人</td><td>98,273,100円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>950人</td><td>134,264,100円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>970人</td><td>139,723,500円</td></tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	H27	904人	98,273,100円	H28	950人	134,264,100円	H29	970人	139,723,500円																					
区分	対象人数	補助金額																																							
H27	904人	98,273,100円																																							
H28	950人	134,264,100円																																							
H29	970人	139,723,500円																																							
成果に係る評価		本市の幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減するため、今後も継続して本事業を実施する必要がある。																																							
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	141,369,000	139,723,500	74,047,100				65,676,400																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																			
	5 項	幼稚園費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																			
	1 目	幼稚園費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																			
実施計画掲載ページ		P 20	中 事 業	私立幼稚園運営費助成費																						
事業コード		002-001-002-00224	事 業 名	私立幼稚園運営費助成事業																						
目的及び事業内容		市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。 ・私立幼稚園運営費の助成 幼稚園割 1園 160,000円 職員割 1人 30,000円 園児割 1人 1,200円																								
取組実績		市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>穀町幼稚園</td><td>895,600円</td></tr> <tr><td>法山寺幼稚園</td><td>632,800円</td></tr> <tr><td>石巻カトリック幼稚園</td><td>708,400円</td></tr> <tr><td>石巻みずほ幼稚園</td><td>1,018,000円</td></tr> <tr><td>ひばり幼稚園</td><td>1,162,000円</td></tr> <tr><td>栄光幼稚園</td><td>324,400円</td></tr> <tr><td>長浜幼稚園</td><td>712,000円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>5,453,200円</td></tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	穀町幼稚園	895,600円	法山寺幼稚園	632,800円	石巻カトリック幼稚園	708,400円	石巻みずほ幼稚園	1,018,000円	ひばり幼稚園	1,162,000円	栄光幼稚園	324,400円	長浜幼稚園	712,000円	合計	5,453,200円
区分	運営費補助金																									
穀町幼稚園	895,600円																									
法山寺幼稚園	632,800円																									
石巻カトリック幼稚園	708,400円																									
石巻みずほ幼稚園	1,018,000円																									
ひばり幼稚園	1,162,000円																									
栄光幼稚園	324,400円																									
長浜幼稚園	712,000円																									
合計	5,453,200円																									
成 果		義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。 <p>(助成内訳)</p> 運営費補助金 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>6,076,800円</td></tr> <tr><td>H28</td><td>6,200,400円</td></tr> <tr><td>H29</td><td>5,453,200円</td></tr> </tbody> </table>							区分	運営費補助金	H27	6,076,800円	H28	6,200,400円	H29	5,453,200円										
区分	運営費補助金																									
H27	6,076,800円																									
H28	6,200,400円																									
H29	5,453,200円																									
成果に係る評価		私立幼稚園の健全な運営を図るとともに、保護者の負担軽減を図るため、今後も継続して本事業を実施し、本市の義務教育就学前における幼児教育を推進する必要がある。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	6,218,000	5,453,200					5,453,200																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																			
	5 項	幼稚園費		第 節			()																			
	2 目	幼稚園建設費		()			()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	幼稚園施設老朽化対策事業費																						
事業コード			事 業 名	幼稚園施設老朽化対策事業																						
目的及び事業内容		老朽化が進行している幼稚園施設について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施し、施設の延命化を図り、園児が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備を図る。																								
取組実績		<p>老朽化が進行している幼稚園2園について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施した。</p> <p>1 実施校 (1)工事(繰越事業) 住吉幼稚園、稲井幼稚園</p> <p>2 科目別予算額・事業費内訳 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H29予算額 (繰越分のみ)</th> <th>H29事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>1,000,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>12,000,000</td> <td>1,998,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>157,800,000</td> <td>101,305,080</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>170,900,000</td> <td>103,403,080</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	H29予算額 (繰越分のみ)	H29事業費	消耗品費	100,000	100,000	手数料	1,000,000	0	監理	12,000,000	1,998,000	工事	157,800,000	101,305,080	計	170,900,000	103,403,080
内訳	H29予算額 (繰越分のみ)	H29事業費																								
消耗品費	100,000	100,000																								
手数料	1,000,000	0																								
監理	12,000,000	1,998,000																								
工事	157,800,000	101,305,080																								
計	170,900,000	103,403,080																								
成 果		老朽化が進行している幼稚園2園について、屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施したことにより、園児が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう整備が図られた。																								
成果に係る評価		<p>平成29年度は幼稚園2園の工事を実施したことで、施設の延命化を図るとともに園児の教育環境の改善が図られた。平成29年度の工事をもって事業完了となるが、次回更新に向けて適切な維持保全を継続する。</p> <p>また、今回の事業では主に屋上防水工事・外壁防水工事・トイレ洋式化工事等を実施したが、改修を行っていない箇所や設備機器等もあることから、整備手法や費用を考慮しながら、適切な改修方法の検討を進める。</p>																								
(単位:円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	170,900,000	103,403,080	18,563,000	80,400,000		4,440,080																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																																
	6 項	社会教育費		(1)		未来の人を育てる																																																																	
	1 目	社会教育総務費		(3)		子どものケアの実施																																																																	
実施計画掲載ページ		P208	中 事 業	社会教育事務費																																																																			
事業コード		004-103-002-00527	事 業 名	家庭教育支援事業																																																																			
目的及び事業内容		子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人たちによる「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、地域とのコミュニケーションや学習の機会等になかなか参加できない保護者や家庭に対する支援を行う。																																																																					
取組実績		<p>1 親子参加型の活動(子育てサロン)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>H27.4~H28.3</td> <td>22回</td> <td>延べ 310組 691人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H28.4~H29.3</td> <td>21回</td> <td>延べ 317組 730人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H29.4~H30.3</td> <td>21回</td> <td>延べ 315組 751人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 親の学び講座(親対象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>H27.5~H28.3</td> <td>40回</td> <td>延べ 296人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H28.5~H29.3</td> <td>32回</td> <td>延べ 248人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H29.5~H30.3</td> <td>24回</td> <td>延べ 152人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 「親のみちしるべ」講座(平成27年度より開始)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>H27.7~H27.11</td> <td>3回</td> <td>延べ 33人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H28.7~H29.1</td> <td>3回</td> <td>延べ 41人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H29.7~H29.10</td> <td>3回</td> <td>延べ 31人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 子育てサポーター養成講座(平成26年度より開始)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>H27.5~H27.6</td> <td>4回</td> <td>延べ 21人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H28.5~H28.6</td> <td>4回</td> <td>延べ 29人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H29.5~H29.6</td> <td>4回</td> <td>延べ 13人</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H27	H27.4~H28.3	22回	延べ 310組 691人	H28	H28.4~H29.3	21回	延べ 317組 730人	H29	H29.4~H30.3	21回	延べ 315組 751人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H27	H27.5~H28.3	40回	延べ 296人	H28	H28.5~H29.3	32回	延べ 248人	H29	H29.5~H30.3	24回	延べ 152人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H27	H27.7~H27.11	3回	延べ 33人	H28	H28.7~H29.1	3回	延べ 41人	H29	H29.7~H29.10	3回	延べ 31人	年 度	実施期間	実施回数	参加人数	H27	H27.5~H27.6	4回	延べ 21人	H28	H28.5~H28.6	4回	延べ 29人	H29	H29.5~H29.6	4回	延べ 13人
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																				
H27	H27.4~H28.3	22回	延べ 310組 691人																																																																				
H28	H28.4~H29.3	21回	延べ 317組 730人																																																																				
H29	H29.4~H30.3	21回	延べ 315組 751人																																																																				
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																				
H27	H27.5~H28.3	40回	延べ 296人																																																																				
H28	H28.5~H29.3	32回	延べ 248人																																																																				
H29	H29.5~H30.3	24回	延べ 152人																																																																				
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																				
H27	H27.7~H27.11	3回	延べ 33人																																																																				
H28	H28.7~H29.1	3回	延べ 41人																																																																				
H29	H29.7~H29.10	3回	延べ 31人																																																																				
年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																																																				
H27	H27.5~H27.6	4回	延べ 21人																																																																				
H28	H28.5~H28.6	4回	延べ 29人																																																																				
H29	H29.5~H29.6	4回	延べ 13人																																																																				
成 果		<p>「子育てサロン」は、実施から7年が経過し、親子の交流及び心のケア、育児相談の場として定着している。家庭教育支援チーム員も増加し、市民が自主的に企画・運営に関わろうとする機運が高まっており、市内NPOや子育てサークルとの連携により内容が充実してきている。</p> <p>「親の学び講座」は、3講座(1講座につき8回実施)開催しており、受講者の評価が高く子育てのスキルアップや親同士のコミュニティ形成に成果が見られる。</p> <p>「親のみちしるべ講座」は、平成27年度より東部教育事務所からの協力依頼を受けて開催しており、小学校就学前における講座開催は、親同士のコミュニティ形成に役立っている。</p> <p>「子育てサポーター養成講座」は、県教育委員会、東部教育事務所、石巻市教育委員会が共催で地元開催している。毎回、子育て支援の専門家の講話を聞くことによって、子育ての喜びを改めて感じたり悩みの解決方法に気付くことが出来ている。</p>																																																																					
成果に係る評価		家庭教育支援事業は、年々市民に浸透してきており、子育て世帯の孤立化解消や親子の心のケア、親同士のコミュニティ形成、次世代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材育成という点において大きな成果が見られる。また、講座の受講生が家庭教育支援チームで活動を始めたり、新しく子育て支援団体を立ち上げるなどの成果が見られることから、市民にとって意義のある事業であるため今後も継続が必要である。																																																																					
(単位:円)																																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																	
	349,640	235,721	235,721																																																																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																																													
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																																													
	1 目	社会教育総務費		(2)	青少年を健全に育成する		()																																																													
実施計画掲載ページ		P31	中 事 業	少年指導者育成費																																																																
事業コード		002-002-002-00261	事 業 名	少年指導者育成事業																																																																
<p>目的及び事業内容</p> <p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダの育成を通して、青少年の健全育成を図る。 宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中高生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳を授与する。 研修を修了したジュニア・リーダーは、各地区のサークルに所属し、市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣され、子どもたちの指導等を行っている。</p>																																																																				
<p>取組実績</p> <p>1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援</p> <p>(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会</td> <td>7月26日(水)～28日(金)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中級研修会</td> <td>8月17日(木)～18日(金)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上級研修会</td> <td>12月26日(火)～28日(木)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会事前説明</td> <td>7月 8日(土)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>初級研修会</td> <td>7月26日(水)～28日(金)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>中級研修会</td> <td>8月17日(木)～18日(金)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>防災研修会</td> <td>8月22日(火)</td> <td>石巻市中里 北上運河</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>みやぎジュニア・リーダー交流会</td> <td>12月 2日(土)～ 3日(日)</td> <td>花山青少年自然の家</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>上級研修会</td> <td>12月26日(火)～28日(木)</td> <td>志津川自然の家</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援 市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。 団体による申請数：69回 派遣したジュニア・リーダー数（延べ）：406人 会員数：64人</p>									No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	初級研修会	7月26日(水)～28日(金)	花山青少年自然の家	24人	No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	中級研修会	8月17日(木)～18日(金)	志津川自然の家	7人	2	上級研修会	12月26日(火)～28日(木)	志津川自然の家	2人	No.	事業名	開催日	実施場所	参加者	1	初級研修会事前説明	7月 8日(土)	石巻中央公民館	23人	2	初級研修会	7月26日(水)～28日(金)	花山青少年自然の家	31人	3	中級研修会	8月17日(木)～18日(金)	志津川自然の家	9人	4	防災研修会	8月22日(火)	石巻市中里 北上運河	2人	5	みやぎジュニア・リーダー交流会	12月 2日(土)～ 3日(日)	花山青少年自然の家	6人	6	上級研修会	12月26日(火)～28日(木)	志津川自然の家	2人
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																																
1	初級研修会	7月26日(水)～28日(金)	花山青少年自然の家	24人																																																																
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																																
1	中級研修会	8月17日(木)～18日(金)	志津川自然の家	7人																																																																
2	上級研修会	12月26日(火)～28日(木)	志津川自然の家	2人																																																																
No.	事業名	開催日	実施場所	参加者																																																																
1	初級研修会事前説明	7月 8日(土)	石巻中央公民館	23人																																																																
2	初級研修会	7月26日(水)～28日(金)	花山青少年自然の家	31人																																																																
3	中級研修会	8月17日(木)～18日(金)	志津川自然の家	9人																																																																
4	防災研修会	8月22日(火)	石巻市中里 北上運河	2人																																																																
5	みやぎジュニア・リーダー交流会	12月 2日(土)～ 3日(日)	花山青少年自然の家	6人																																																																
6	上級研修会	12月26日(火)～28日(木)	志津川自然の家	2人																																																																
<p>成 果</p> <p>平成29年度は、防災研修会やみやぎジュニア・リーダー交流会等、ジュニア・リーダーサークル間の交流活動を増やすことにより、相互に学び合う機会が増え、ジュニア・リーダーたちの活動意欲を高めることができた。</p>																																																																				
<p>成果に係る評価</p> <p>これまでの積極的な取組が少しずつ市民に認識されるようになってきており、子どもたちの健全育成並びに子ども会活動の活性化に資する効果は大きいと考える。 また、多くの活動を経験することにより、リーダーとしての自覚と資質向上が期待でき、将来の石巻市のリーダーとなる人材育成という点においても大きな意義があると考えられる。 震災後、活動を休止している雄勝、北上、牡鹿の3地区については、ジュニア・リーダーの活動を再開できるように、支援していく必要がある。</p>																																																																				
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
	730,000		417,751					417,751																																																												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																																																																					
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()																																																																					
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		()																																																																					
実施計画掲載ページ		P108	中 事 業	芸術文化振興費																																																																								
事業コード		005-003-001-00272	事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業																																																																								
<p>目的及び事業内容</p> <p>芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた芸術を鑑賞、体験してもらうことにより、豊かな情操を養う。 学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術を鑑賞したり、体験したりする機会を提供することで芸術文化についての関心を高め、鑑賞する楽しさや表現する喜びを味わわせるとともに感性を磨くために必要な事業である。</p>																																																																												
<p>取組実績</p> <p>1 巡回小劇場</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月7日</td> <td>開北小学校</td> <td>三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート</td> <td>開北小学校（児童330人）</td> </tr> <tr> <td>11月7日</td> <td>渡波小学校</td> <td>三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート</td> <td>渡波小学校（児童243人）</td> </tr> <tr> <td>11月8日</td> <td>万石浦小学校</td> <td>三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート</td> <td>万石浦小学校（児童320人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 青少年劇場小公演</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月2日</td> <td>飯野川小学校</td> <td>水野与旨久「マリンバコンサート」</td> <td>飯野川小学校（児童179人）</td> </tr> <tr> <td>10月2日</td> <td>住吉小学校</td> <td>水野与旨久「マリンバコンサート」</td> <td>住吉小学校（児童146人）</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>鮎川小学校</td> <td>はなしの伝統芸能「落語」</td> <td>鮎川小学校（児童24人）</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>鹿又小学校</td> <td>はなしの伝統芸能「落語」</td> <td>鹿又小学校（児童117人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月8日</td> <td>青葉中学校</td> <td>演芸 カンジャマ・マイム</td> <td>青葉中学校（生徒234人）</td> </tr> <tr> <td>9月11日</td> <td>蛇田小学校</td> <td>能楽 公益財団法人 鎌倉能舞台</td> <td>蛇田小学校（児童771人）</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>開北小学校</td> <td>舞踊 スターダンサーズ・バレエ団</td> <td>開北小学校（児童331人）</td> </tr> <tr> <td>11月7日</td> <td>大原小学校</td> <td>音楽 札幌交響楽団</td> <td>大原小学校他2校（児童51人）</td> </tr> <tr> <td>11月29日</td> <td>牡鹿中学校</td> <td>音楽 公益社団法人 日本三曲協会</td> <td>牡鹿中学校（生徒32人）</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 文化芸術による子供の育成事業（芸術家派遣事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>公演内容</th> <th>鑑賞学校・鑑賞人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月9日 9月15日 11月10日</td> <td>須江小学校</td> <td>茂木寿哉「陶芸」</td> <td>須江小学校（児童36人）</td> </tr> </tbody> </table>									開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	11月7日	開北小学校	三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート	開北小学校（児童330人）	11月7日	渡波小学校	三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート	渡波小学校（児童243人）	11月8日	万石浦小学校	三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート	万石浦小学校（児童320人）	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	10月2日	飯野川小学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	飯野川小学校（児童179人）	10月2日	住吉小学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	住吉小学校（児童146人）	10月3日	鮎川小学校	はなしの伝統芸能「落語」	鮎川小学校（児童24人）	10月3日	鹿又小学校	はなしの伝統芸能「落語」	鹿又小学校（児童117人）	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	9月8日	青葉中学校	演芸 カンジャマ・マイム	青葉中学校（生徒234人）	9月11日	蛇田小学校	能楽 公益財団法人 鎌倉能舞台	蛇田小学校（児童771人）	10月3日	開北小学校	舞踊 スターダンサーズ・バレエ団	開北小学校（児童331人）	11月7日	大原小学校	音楽 札幌交響楽団	大原小学校他2校（児童51人）	11月29日	牡鹿中学校	音楽 公益社団法人 日本三曲協会	牡鹿中学校（生徒32人）	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数	6月9日 9月15日 11月10日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校（児童36人）
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																																																									
11月7日	開北小学校	三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート	開北小学校（児童330人）																																																																									
11月7日	渡波小学校	三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート	渡波小学校（児童243人）																																																																									
11月8日	万石浦小学校	三輪郁 ヴァイオリン、チェロ、ピアノのコンサート	万石浦小学校（児童320人）																																																																									
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																																																									
10月2日	飯野川小学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	飯野川小学校（児童179人）																																																																									
10月2日	住吉小学校	水野与旨久「マリンバコンサート」	住吉小学校（児童146人）																																																																									
10月3日	鮎川小学校	はなしの伝統芸能「落語」	鮎川小学校（児童24人）																																																																									
10月3日	鹿又小学校	はなしの伝統芸能「落語」	鹿又小学校（児童117人）																																																																									
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																																																									
9月8日	青葉中学校	演芸 カンジャマ・マイム	青葉中学校（生徒234人）																																																																									
9月11日	蛇田小学校	能楽 公益財団法人 鎌倉能舞台	蛇田小学校（児童771人）																																																																									
10月3日	開北小学校	舞踊 スターダンサーズ・バレエ団	開北小学校（児童331人）																																																																									
11月7日	大原小学校	音楽 札幌交響楽団	大原小学校他2校（児童51人）																																																																									
11月29日	牡鹿中学校	音楽 公益社団法人 日本三曲協会	牡鹿中学校（生徒32人）																																																																									
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数																																																																									
6月9日 9月15日 11月10日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校（児童36人）																																																																									
<p>成 果</p> <p>児童・生徒に対し、優れた芸術を直接鑑賞する機会を提供することにより、情操を養い豊かな人間形成に寄与することができた。一流の文化・芸術に触れることで、児童・生徒は楽しみながら、その面白さを知り、感性を磨いたり教養を深めたりするよい機会となった。</p>																																																																												
<p>成果に係る評価</p> <p>巡回小劇場、青少年劇場小公演、文化芸術による子供の育成事業については、関係団体と連携を図りながら、質の高い文化・芸術を児童・生徒に提供することができた。今後も関係団体、学校側と連絡を取り合い、質の高い芸術文化に触れる機会を提供していきたいと考える。</p>																																																																												
(単位：円)																																																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																				
	1,479,510		1,382,400				1,000,000	382,400																																																																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																															
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()																															
	1 目	社会教育総務費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		()																															
実施計画掲載ページ		P107	中 事 業	芸術文化振興費																																		
事業コード		005-003-001-00271	事 業 名	市美術展実施事業																																		
目的及び事業内容		美術を通して、石巻市における芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から作品を公募する美術展を開催する。																																				
取組実績		<p>1 石巻市美術展再開に向けて 震災前の会場である石巻市文化センターの滅失により、震災後開催していなかったが、平成25年度、震災により流失した市美術展開催用具類を新調、河北総合センター「ビッグバン」で石巻市美術展プレ・リオープン展を開催。平成26年度から公募展を再開している。</p> <p>2 第33回石巻市美術展の開催 (1) 開催期間 平成29年10月1日～9日 (2) 開催場所 河北総合センター「ビッグバン」 (3) 出品点数 252点（一般138点 高校生47点 無鑑査27点 招待4点 実行委員32点 審査員4点） (4) 観覧者数 1,472人 (5) 受賞者 48人 (6) 授賞式 平成29年10月1日</p> <p>3 過去5年間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出品点数</td> <td>78点</td> <td>262点</td> <td>246点</td> <td>239点</td> <td>252点</td> </tr> <tr> <td>観覧者数</td> <td>463人</td> <td>1,148人</td> <td>1,150人</td> <td>1,113人</td> <td>1,472人</td> </tr> <tr> <td>開催日数</td> <td>10日</td> <td>9日</td> <td>9日</td> <td>9日</td> <td>9日</td> </tr> <tr> <td>一日平均</td> <td>46人</td> <td>128人</td> <td>128人</td> <td>124人</td> <td>163人</td> </tr> </tbody> </table>								H25	H26	H27	H28	H29	出品点数	78点	262点	246点	239点	252点	観覧者数	463人	1,148人	1,150人	1,113人	1,472人	開催日数	10日	9日	9日	9日	9日	一日平均	46人	128人	128人	124人	163人
	H25	H26	H27	H28	H29																																	
出品点数	78点	262点	246点	239点	252点																																	
観覧者数	463人	1,148人	1,150人	1,113人	1,472人																																	
開催日数	10日	9日	9日	9日	9日																																	
一日平均	46人	128人	128人	124人	163人																																	
成 果		<p>石巻市美術展は、日本画、洋画、書、彫刻、陶芸の5部門からなる石巻地方最大規模の公募展である。市美術展を開催することにより、市民の作品発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供でき、芸術文化の向上と文化振興に寄与することができた。震災後に再開してから5年目となる（プレ・リオープン展含む）が、出品点数はほぼ震災前の水準に達している。平成29年度に友好都市の山形県河北町との共同企画を実施したことも、観覧者数が大きく増加した要因と考えられる。</p>																																				
成果に係る評価		<p>平成17年の合併を機にこれまでの実行委員会主催を改め、石巻市・石巻市教育委員会・公益財団法人石巻市芸術文化振興財団の主催とし、実行委員会を主管とする体制で実施しており、会場は文化センターの被災により河北総合センター「ビッグバン」に変更し、平成26年度から公募展を再開している。出品点数については、震災前の水準にあるものの、若年層の出品が少ないことから、高等学校の書道部、美術部に出品を呼びかけるなど、出品者数を増やす方法を実行委員会で検討している。また、平成29年度の観覧者数については、震災後最多となったが、まだ震災前の水準には達していない。今後も観覧者数の増加が見込める企画を実施する他、十分な情報発信を行い、観覧者増に努める必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
		360,000	360,000				360,000																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																					
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																					
実施計画掲載ページ		P31	中 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事業コード		002-002-001-00278	事 業 名	家庭教育学級開設事業																																								
目的及び事業内容		<p>(目的) 保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。 (事業内容) 実施機関（幼稚園、保育所・学校単位）ごとに開催 中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。</p>																																										
取組実績		<p>実施機関のPTA等と協力しながら、地域性や親のニーズに合わせた様々な学習内容により開催されており、また、多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して学習の場を提供するなど、身近な地域における家庭教育支援の基盤が確立された。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校 3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開設機関区分</th> <th>実施機関数</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>35 機関</td> <td>74 回</td> <td>5,169 人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>10 機関</td> <td>22 回</td> <td>1,554 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>3 機関</td> <td>7 回</td> <td>208 人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>16 機関</td> <td>30 回</td> <td>2,346 人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6 機関</td> <td>12 回</td> <td>1,274 人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>4 機関</td> <td>9 回</td> <td>441 人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>5 機関</td> <td>12 回</td> <td>543 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>79 機関</td> <td>166 回</td> <td>11,535 人</td> </tr> </tbody> </table>							開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数	石巻地区	35 機関	74 回	5,169 人	河北地区	10 機関	22 回	1,554 人	雄勝地区	3 機関	7 回	208 人	河南地区	16 機関	30 回	2,346 人	桃生地区	6 機関	12 回	1,274 人	北上地区	4 機関	9 回	441 人	牡鹿地区	5 機関	12 回	543 人	計	79 機関	166 回	11,535 人
開設機関区分	実施機関数	実施回数	参加者数																																									
石巻地区	35 機関	74 回	5,169 人																																									
河北地区	10 機関	22 回	1,554 人																																									
雄勝地区	3 機関	7 回	208 人																																									
河南地区	16 機関	30 回	2,346 人																																									
桃生地区	6 機関	12 回	1,274 人																																									
北上地区	4 機関	9 回	441 人																																									
牡鹿地区	5 機関	12 回	543 人																																									
計	79 機関	166 回	11,535 人																																									
成 果		<p>家庭教育の必要性について啓発を行った結果、実施回数は、徐々に増加している状況である。本事業は、身近な地域における家庭教育支援の基盤となる事業であり、実施機関では、年間行事を踏まえ、それぞれ工夫しながら学習会を開催している。学習内容については、保護者の希望を取り入れながら親子、あるいは保護者のみでの体験型学習会も増えており、反面、子育てに直接かかわる内容とは必ずしも言えない内容も散見されるが、学習会を通して、子育て・家庭教育のあり方についての理解が広がり、受講者の満足度は高いものである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標（開設回数）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>160回</td> <td>153回</td> <td>95.6%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>160回</td> <td>164回</td> <td>102.5%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>160回</td> <td>166回</td> <td>103.7%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標（開設回数）		達成率等	目標値	実績等	H27	160回	153回	95.6%	H28	160回	164回	102.5%	H29	160回	166回	103.7%																		
区分	成果指標（開設回数）		達成率等																																									
	目標値	実績等																																										
H27	160回	153回	95.6%																																									
H28	160回	164回	102.5%																																									
H29	160回	166回	103.7%																																									
成果に係る評価		<p>実施機関や地域との連携を深め、地域のニーズに対応した講師や内容を検討し、充実した効果的な事業を行うことで、受講生は、子育てのあり方や家庭教育の重要性について認識が深まっており、今後もより多くの保護者に学ぶ機会を広げていくためには、保護者の一層の参加を期待できる学習会の持ち方等を支援していく必要がある。また、開設されていない公立保育所及び私立幼稚園・保育所（園）に家庭教育学級の開設を働きかけていくことも継続していきたい。</p>																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		750,000	750,000	750,000																																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																						
	6 項	社会教育費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()																						
	1 目	社会教育総務費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()																						
実施計画掲載ページ		P23	中 事 業		子ども読書活動推進費																								
事業コード		002-001-002-00259	事 業 名		ブックスタート事業																								
目的及び事業内容		乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法について保護者へ啓発を行う。																											
取組実績		<p>健康推進課で行っている3・4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアが読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配付した。</p> <table border="1"> <tr> <td>3・4か月児健診</td> <td>対象者数</td> <td>866人</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>受診者数</td> <td>852人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付者数</td> <td></td> <td>852人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率(対対象者)</td> <td></td> <td>98.4%</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック配付率(対受診者)</td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア会員数</td> <td></td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボランティア延べ参加者数</td> <td></td> <td>136人</td> </tr> </table>							3・4か月児健診	対象者数	866人	〃	受診者数	852人	ブックスタートパック配付者数		852人	ブックスタートパック配付率(対対象者)		98.4%	ブックスタートパック配付率(対受診者)		100.0%	読み聞かせボランティア会員数		20人	読み聞かせボランティア延べ参加者数		136人
3・4か月児健診	対象者数	866人																											
〃	受診者数	852人																											
ブックスタートパック配付者数		852人																											
ブックスタートパック配付率(対対象者)		98.4%																											
ブックスタートパック配付率(対受診者)		100.0%																											
読み聞かせボランティア会員数		20人																											
読み聞かせボランティア延べ参加者数		136人																											
成 果		ボランティアのネットワークが広がり、円滑に事業を推進することができている。保護者の方も、事業内容を理解し、快く参加している。乳児に絵本を見せ読み聞かせると、絵本を目で追い反応を示し、その様子に、保護者は一様に驚きの表情を浮かべ読み聞かせの効果を実感していた。また絵本を通して保護者の方とコミュニケーションがとれ、読書活動推進の一助となっている。																											
成果に係る評価		ブックスタート事業は平成22年度から実施し、市民の皆様に着実に定着してきている。また、ボランティアの方々のネットワークも広がり、円滑に事業が展開している。今後は、ブックスタートパックを手渡す際に絵本の読み聞かせを行うボランティアの確保とスキルアップを図っていく。																											
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																								
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	2,200,000		2,069,563		51,052		1,000,000	1,018,511																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																					
	6 項	社会教育費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																					
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()																																					
実施計画掲載ページ		P35	中 事 業		協働教育推進事業費																																							
事業コード		002-003-002-00262	事 業 名		ふるさと子どもカレッジ事業																																							
目的及び事業内容		石巻の自然、産業、歴史等の素材を資源として様々な体験活動を通じて、地域の自然や伝統文化などの学習機会を創出する。地域の教育力と郷土の自然、文化、企業等を活用し、子どもたちに体験的に学ばせることにより、豊かな心を育む教育活動を推進する。																																										
取組実績		<p>ふるさと子どもカレッジ 活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>活動内容</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>開校式、硯上山登山、森林公園</td> <td>6月24日(土)</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>川遊び体験(北上川川下り・流しソーメン)</td> <td>7月23日(日)</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>石巻魚市場、石ノ森萬画館、旧親慶丸商店見学</td> <td>8月24日(木)</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>星空観察、ジュニアリーダーと活動</td> <td>9月23日(土)</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>企業訪問</td> <td>10月28日(土)</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>郷土料理づくり</td> <td>11月18日(土)</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>石巻専修大学出前授業</td> <td>12月16日(土)</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ヨシ刈り体験、神割崎等見学、開校式</td> <td>1月27日(土)</td> <td>14人</td> </tr> </tbody> </table>								活動内容	開催日	参加者数	1	開校式、硯上山登山、森林公園	6月24日(土)	18人	2	川遊び体験(北上川川下り・流しソーメン)	7月23日(日)	17人	3	石巻魚市場、石ノ森萬画館、旧親慶丸商店見学	8月24日(木)	19人	4	星空観察、ジュニアリーダーと活動	9月23日(土)	17人	5	企業訪問	10月28日(土)	12人	6	郷土料理づくり	11月18日(土)	14人	7	石巻専修大学出前授業	12月16日(土)	8人	8	ヨシ刈り体験、神割崎等見学、開校式	1月27日(土)	14人
	活動内容	開催日	参加者数																																									
1	開校式、硯上山登山、森林公園	6月24日(土)	18人																																									
2	川遊び体験(北上川川下り・流しソーメン)	7月23日(日)	17人																																									
3	石巻魚市場、石ノ森萬画館、旧親慶丸商店見学	8月24日(木)	19人																																									
4	星空観察、ジュニアリーダーと活動	9月23日(土)	17人																																									
5	企業訪問	10月28日(土)	12人																																									
6	郷土料理づくり	11月18日(土)	14人																																									
7	石巻専修大学出前授業	12月16日(土)	8人																																									
8	ヨシ刈り体験、神割崎等見学、開校式	1月27日(土)	14人																																									
成 果		石巻の各地域にある豊かな自然、産業、歴史等の資源に目を向けて、全8回シリーズとして講座を開設した。参加者が自ら見聞きし、体験することにより郷土に対する理解を深めるとともに、普段自ら訪れることのない場所で活動することにより新たな発見をする貴重な機会となった。																																										
成果に係る評価		各地域で活動を行っている企業や人材、気づかずに見過ごしている文化や史跡・自然に触れ、郷土の素晴らしさを再確認する良いきっかけとなった。参加者が募集人員に達していないため、より多くの参加を得られるよう募集方法について今後工夫が必要である。																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	119,110		57,045		57,045																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																														
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																														
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()																																														
実施計画掲載ページ		P 35	中 事 業	まちなか実験室事業費																																																	
事業コード		002-003-002-00264	事 業 名	まちなか実験室事業																																																	
目的及び事業内容		小学生を対象に科学実験や自然観察、模擬発明、工作等の参加型学習講座を実施し、学ぶ楽しさ、知る喜びを実感させ、科学に対する興味・関心を高めることにより、創造性と思いやりのある心豊かな子どもたちを育成することを目的とする。																																																			
取組実績		<p>講師、指導者となる団体又は企業への委託事業とし、本庁・総合支所単位でそれぞれ実験室を開催した。</p> <p>1 まちなか実験室実施内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石 巻 地 区</td> <td>1月23日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>40人</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>河 北 地 区</td> <td>9月5日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>33人</td> <td>97.0%</td> </tr> <tr> <td>雄 勝 地 区</td> <td>9月29日</td> <td>シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか</td> <td>20人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>河 南 地 区</td> <td>10月15日</td> <td>北上川でカヌーを使って水に親しもう！</td> <td>11人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>桃 生 地 区</td> <td>10月25日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>28人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>北 上 地 区</td> <td>12月5日 1月11日</td> <td>シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか</td> <td>23人</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>牡 鹿 地 区</td> <td>9月22日 1月16日</td> <td>シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか</td> <td>85人</td> <td>97.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>240人</td> <td>98.3%</td> </tr> </tbody> </table>							開催場所	開催日	内 容	参加人数	満足度	石 巻 地 区	1月23日	もしも原子が見えたなら	40人	97.5%	河 北 地 区	9月5日	もしも原子が見えたなら	33人	97.0%	雄 勝 地 区	9月29日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	20人	100.0%	河 南 地 区	10月15日	北上川でカヌーを使って水に親しもう！	11人	100.0%	桃 生 地 区	10月25日	もしも原子が見えたなら	28人	100.0%	北 上 地 区	12月5日 1月11日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	23人	100.0%	牡 鹿 地 区	9月22日 1月16日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	85人	97.6%	計			240人	98.3%
開催場所	開催日	内 容	参加人数	満足度																																																	
石 巻 地 区	1月23日	もしも原子が見えたなら	40人	97.5%																																																	
河 北 地 区	9月5日	もしも原子が見えたなら	33人	97.0%																																																	
雄 勝 地 区	9月29日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	20人	100.0%																																																	
河 南 地 区	10月15日	北上川でカヌーを使って水に親しもう！	11人	100.0%																																																	
桃 生 地 区	10月25日	もしも原子が見えたなら	28人	100.0%																																																	
北 上 地 区	12月5日 1月11日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	23人	100.0%																																																	
牡 鹿 地 区	9月22日 1月16日	シャボン玉遊び、水ロケット打上実験ほか	85人	97.6%																																																	
計			240人	98.3%																																																	
成 果		身近な「なぜ？」から、解き明かす自主性と創造する心を育むことができた。また、子どもたちが自然の大切さや雄大さを知り、科学に対する興味・関心を高め、創造性と思いやりのある豊かな心の育成が図られた。																																																			
成果に係る評価		受講した多くの子どもたちが積極的に科学の実験や自然観察に取り組み、科学に対する関心を高めることができた。特に「水ロケット打上実験」では、ロケットが飛ぶ仕組みや空気と水の関係性などを楽しみながら考えることができた。 今後も科学実験等の体験の機会を提供するため、企画や運営について検討していく必要がある。																																																			
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	600,000	508,267				508,267																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																					
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																					
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																					
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業	放課後子ども教室推進事業費																								
事業コード		002-002-001-00617	事 業 名	放課後子ども教室推進事業																								
目的及び事業内容		市内小学校区において、公共施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。																										
取組実績		<p>1 放課後子ども教室推進事業</p> <p>①「和 کوچکクラブ」（河南地域住民自治協議会和渚地区部会へ運営を依頼） ・登録児童数：50人 ・登録ボランティア数：25人</p> <p>②「上釜子ども教室」（上釜町内会、NPO法人にじいるクレヨンへ運営を依頼） ・対象児童：上釜子ども会70人（自由参加） ・登録ボランティア数：13人</p> <p>③「放課後子ども教室Bremen」（放課後児童クラブBremenへ運営を依頼） ・対象児童：石巻小学校区児童（自由参加） ・登録ボランティア数：13人</p> <p>2 放課後子ども教室の活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活 動 内 容</th> <th>日数</th> <th>参加児童延べ人数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①和 کوچکクラブ（宿題・自由学習・紙工作など）</td> <td>32日</td> <td>1,396人</td> <td>386人</td> </tr> <tr> <td>②上釜子ども教室（伝統行事体験・地域学習など）</td> <td>10日</td> <td>98人</td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td>③放課後子ども教室Bremen（伝統文化活動など）</td> <td>14日</td> <td>147人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,641人</td> <td>543人</td> </tr> </tbody> </table>							活 動 内 容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数	①和 کوچکクラブ（宿題・自由学習・紙工作など）	32日	1,396人	386人	②上釜子ども教室（伝統行事体験・地域学習など）	10日	98人	87人	③放課後子ども教室Bremen（伝統文化活動など）	14日	147人	70人	計		1,641人	543人
活 動 内 容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延べ人数																									
①和 کوچکクラブ（宿題・自由学習・紙工作など）	32日	1,396人	386人																									
②上釜子ども教室（伝統行事体験・地域学習など）	10日	98人	87人																									
③放課後子ども教室Bremen（伝統文化活動など）	14日	147人	70人																									
計		1,641人	543人																									
成 果		和 کوچکクラブは、毎週木曜日の放課後に活動している。地域にも定着し、和渚小学校児童の約半数が参加している。多くのボランティアとともに様々なプログラムを体験し、楽しく活動に取り組むことができた。また、縦割り班でグループを編成しているため、自然と上級生が下級生の子どもの面倒を見るようになり、思いやりの心が育ってきている。地域ボランティアの方々は活動を楽しみにし、子どもたちとのふれあいを喜んでいる。 上釜子ども教室は、地域の子どもの地域で育てるという考えのもと、ボランティアの方々が、地域の伝統や行事などを熱心に指導した。プログラムは地域素材を活用し地域の工場・施設見学や歴史学習など、地域に密着した活動を多く取り入れ、地域を愛する子どもの育成につながっている。 放課後子ども教室Bremenは、平成29年度より開設した。放課後児童クラブBremenのスタッフを中心に地域住民を巻き込み、子どもたちの安全、安心な居場所作りを行っている。プログラムは、様々なジャンルの方に講師を依頼していることから多彩であり、特に、読書や将棋などの伝統文化活動、英会話などへの関心が高まっている。																										
成果に係る評価		地域の人々の参画を得て、放課後や休日を活用した学習活動や体験活動、異年齢交流などを行いながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保することができた。地域の人々に見守られながら体験活動をやり遂げることで学習意欲が向上するとともに、異年齢交流をとおして思いやりの気持ちが育つなど子どもたちの姿に姿が見られる。 地域の人々も、子どもたちの教育に協力を惜まず、子どもたちとともに放課後子ども教室に参画することに生きがいを見出しており、地域教育力の向上にも役立っている。																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	1,510,000	1,144,939	1,144,939																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()																																		
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																																		
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		()																																		
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業	協働教育推進事業費																																					
事業コード		002-002-001-00260	事 業 名	協働教育推進事業																																					
目的及び事業内容		学校・家庭・地域が協働して、子どもたちの生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子どもを地域全体で育むことを目的とする。また、実施校における成果と課題を広く市内の小学校等に情報提供することで、市内における協働教育推進気運の醸成と協働教育の充実・改善につなげるものとする。																																							
取組実績		協働教育推進事業 活動実績（市内9小学校区推進協議会で実施） <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区名</th> <th>事業回数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 蛇田小学校区</td><td>70回</td><td>88人</td></tr> <tr><td>2 真山小学校区</td><td>31回</td><td>147人</td></tr> <tr><td>3 万石浦小学校区</td><td>51回</td><td>772人</td></tr> <tr><td>4 渡波中学校区</td><td>204回</td><td>1,399人</td></tr> <tr><td>5 東浜小学校区</td><td>6回</td><td>33人</td></tr> <tr><td>6 大谷地小学校区</td><td>24回</td><td>46人</td></tr> <tr><td>7 北上小学校区</td><td>13回</td><td>50人</td></tr> <tr><td>8 青葉中学校区</td><td>31回</td><td>740人</td></tr> <tr><td>9 牡鹿中学校区</td><td>7回</td><td>581人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>437回</td><td>3,856人</td></tr> </tbody> </table>							学校区名	事業回数	参加ボランティア延べ人数	1 蛇田小学校区	70回	88人	2 真山小学校区	31回	147人	3 万石浦小学校区	51回	772人	4 渡波中学校区	204回	1,399人	5 東浜小学校区	6回	33人	6 大谷地小学校区	24回	46人	7 北上小学校区	13回	50人	8 青葉中学校区	31回	740人	9 牡鹿中学校区	7回	581人	合計	437回	3,856人
学校区名	事業回数	参加ボランティア延べ人数																																							
1 蛇田小学校区	70回	88人																																							
2 真山小学校区	31回	147人																																							
3 万石浦小学校区	51回	772人																																							
4 渡波中学校区	204回	1,399人																																							
5 東浜小学校区	6回	33人																																							
6 大谷地小学校区	24回	46人																																							
7 北上小学校区	13回	50人																																							
8 青葉中学校区	31回	740人																																							
9 牡鹿中学校区	7回	581人																																							
合計	437回	3,856人																																							
成 果		保護者や地域の方々の他、地元企業やNPO団体等の協力を得ながら推進したことにより、児童・生徒にとってより有意義な活動を実施することができた。また、新たな人材との出会いにつながった。																																							
成果に係る評価		協働教育を通して、子どもも大人も、地域防災や郷土芸能、地場産業などの理解を深めることができた。今後さらに協働教育を広げていくため、各小学校区の実績を発信強化し、より多くの方々に理解してもらい、協力を得られるような働きかけが必要である。																																							
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	2,274,890	1,619,811	1,619,811																																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()											
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		()											
	3 目	公民館費		(1)	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		()											
実施計画掲載ページ		P 109	中 事 業	公民館管理費														
事業コード		005-003-001-01159	事 業 名	稲井公民館改修事業														
目的及び事業内容		市民の教養向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会教育の更なる充実及び利用者の安全のため、施設の修繕を実施する。																
取組実績		稲井公民館改修事業を実施した。 1 屋上防水改修その他工事 (1) 屋上防水シートの張替え及び防水塗装工事 (2) 談話コーナー床嵩上げ工事 (3) 外壁一部塗装工事（アスベスト検出のため未実施） 2 稲井公民館外壁改修工事設計業務 (1) 稲井公民館外壁改修工事実施設計業務委託																
成 果		稲井公民館屋上防水その他工事の実施により、利用者の安全が図られた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指針</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>100%</td> <td>防水工事 床嵩上げ工事 実施設計業務</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table> ※ 当初予定していた屋上防水その他工事の中で、外壁の一部塗装工事を予定していたが、外壁塗装の下地材よりアスベストが検出され、本工事で実施する事ができなかったため、平成30年度に外壁改修工事として実施することとなり、実施設計業務を行った。							区分	成果指針		達成率等	目標値	実績等	H29	100%	防水工事 床嵩上げ工事 実施設計業務	60%
区分	成果指針		達成率等															
	目標値	実績等																
H29	100%	防水工事 床嵩上げ工事 実施設計業務	60%															
成果に係る評価		・ 外壁改修工事（アスベスト除去）については、平成30年度実施予定にしている。 ・ 稲井公民館は昭和60年に建築されており、今後さらに老朽化が進むと思われることから、利用者の利便性や危険防止のため計画的な維持管理が必要となる。																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	21,200,000	19,091,160		18,100,000			991,160											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()																									
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を生かして輝ける機会をつくる		()																									
	4 目	図書館費		(1)	市民の主体的な学習活動を支援する		()																									
実施計画掲載ページ		P109	中 事 業		図書館活動費																											
事業コード		005-004-001-00276	事 業 名		読書環境整備事業																											
目的及び事業内容 図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し市民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、市民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的としている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるため、魅力ある図書資料や情報の収集・提供に努め、図書館サービスを推進する。																																
取 組 実 績 1 新刊書や児童書を中心とした図書資料の購入・貸出 新刊書や児童書を中心に、図書館で選定した図書及び市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、市民に提供した。 2 レファレンス等による関連図書資料の貸出 レファレンス（調査・相談）業務に基づき、テーマに関連した図書資料を紹介するとともに、貸出を行った。 3 子ども読書活動事業 「あかちゃんおはなし会」、「たのしいおはなし会」を毎月2回実施し、河北・桃生分館でも「おはなし会」を開催している。各事業ともボランティアとの協働により実施している。また、発達段階に応じ、「あかちゃん」、「3・4歳児」、「読み聞かせ」等に分類した絵本を配置して、絵本の選本を容易にし、利用しやすい環境作りを行った。 4 子育て支援事業 子育て支援センターをはじめ各施設では、読み聞かせ、手遊び、わらべうたを通じて、読書習慣の重要性を周知し、保護者へは、成長に応じた絵本の選び方や読み聞かせの仕方を指導した。 5 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施し、また、学校図書館との連携強化のため、学校訪問により学校図書室が抱える問題などの調査や相談を受けた。一方で、学校図書館の充実に向け、学校司書への研修を行った。																																
成 果 ・平成21年度には357,021冊を数えた貸出冊数は、震災の影響により平成23年度には167,048冊まで激減したが、平成29年度280,433冊の貸出と回復しつつある。 ・図書の購入については、新刊、話題の図書及び児童書を中心に購入するとともに、郷土資料の収集に努め、市民からのリクエスト図書は購入や他館からの借受けて対応した。 ・東日本大震災に関する郷土資料を積極的に収集し、市民へ提供するとともに、後世に伝えられるように整備を行った。 ・館内でのレファレンスサービス提供により、市民の利便性向上を図った。 ・移動図書館サービスは仮設住宅の集約化が進む中、17か所（3月実績）を巡回して、被災者支援を図った。																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>5,957冊</td> <td>6,725冊</td> <td>6,761冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>291,341冊</td> <td>291,846冊</td> <td>280,433冊</td> </tr> <tr> <td>（うち移動図書館車）</td> <td>(15,430冊)</td> <td>(12,364冊)</td> <td>(7,762冊)</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>10,442件</td> <td>10,336件</td> <td>10,844件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>1,389件</td> <td>1,687件</td> <td>1,945件</td> </tr> </tbody> </table>									主な指標項目	H27	H28	H29	図書購入冊数	5,957冊	6,725冊	6,761冊	貸出冊数	291,341冊	291,846冊	280,433冊	（うち移動図書館車）	(15,430冊)	(12,364冊)	(7,762冊)	リクエスト処理件数	10,442件	10,336件	10,844件	調査相談サービス	1,389件	1,687件	1,945件
主な指標項目	H27	H28	H29																													
図書購入冊数	5,957冊	6,725冊	6,761冊																													
貸出冊数	291,341冊	291,846冊	280,433冊																													
（うち移動図書館車）	(15,430冊)	(12,364冊)	(7,762冊)																													
リクエスト処理件数	10,442件	10,336件	10,844件																													
調査相談サービス	1,389件	1,687件	1,945件																													
成果に係る評価 ・平成29年度の貸出冊数については、図書館システム更新による休館期間が1か月あり、前年度を下回る結果になった。 ・各種事業をとおして、読書習慣の重要性を周知することができた。 ・学校司書の配置（一部の小・中学校）により、学校図書室との連携を強化できた。 ・移動図書館サービスは、仮設住宅団地からの退去が進むにつれ、利用者が減少してきている。今後は仮設住宅団地の集約状況を注視しながら巡回場所を選定していきたい。																																
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																								
	12,000,000		12,000,000				12,000,000																									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																																				
	6 項	社会教育費		第 節			()																																				
	10 目	河北総合センター費		()			()																																				
実施計画掲載ページ			中 事 業		河北総合センター管理費																																						
事業コード			事 業 名		河北総合センター管理運営事業																																						
目的及び事業内容 スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																											
取 組 実 績 指定管理者による管理運営を実施した。 1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 (2) 指定管理料 90,331,000円（平成29年度） (3) 指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで 2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 ア F A X等を利用した申請受付や利用料の振り込み納入、Eメールによるデータ送信等を行い、遠隔地による利用者への配慮を図った。 (2) 快適な施設管理環境の提供 ア 施設の改修による利用者の安全確保を図った。 イ 河北警察署等との協力体制を構築し、敷地内、施設内における巡回確認、防犯カメラの設置・記録により、防犯の向上を図った。 ウ 関係設備の整備に加え、マニュアル等による定期的な確認を行うとともに、河北消防署等との協力体制を構築し、避難訓練を実施するなど、防災の向上を図った。 3 指定管理開始以降の利用者の推移																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋含む）</td> <td>33,312人</td> <td>23,149人</td> <td>30,598人</td> <td>27,685人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>29,082人</td> <td>39,207人</td> <td>35,578人</td> <td>35,062人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>4,430人</td> <td>4,171人</td> <td>3,780人</td> <td>5,390人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>8,770人</td> <td>8,985人</td> <td>8,619人</td> <td>8,446人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>40,143人</td> <td>53,140人</td> <td>48,698人</td> <td>49,330人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>115,737人</td> <td>128,652人</td> <td>127,273人</td> <td>125,913人</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	H26	H27	H28	H29	ホール（楽屋含む）	33,312人	23,149人	30,598人	27,685人	アリーナ	29,082人	39,207人	35,578人	35,062人	トレーニング室	4,430人	4,171人	3,780人	5,390人	柔剣道場	8,770人	8,985人	8,619人	8,446人	会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	48,698人	49,330人	合計	115,737人	128,652人	127,273人	125,913人
区 分	H26	H27	H28	H29																																							
ホール（楽屋含む）	33,312人	23,149人	30,598人	27,685人																																							
アリーナ	29,082人	39,207人	35,578人	35,062人																																							
トレーニング室	4,430人	4,171人	3,780人	5,390人																																							
柔剣道場	8,770人	8,985人	8,619人	8,446人																																							
会議室等その他の部屋	40,143人	53,140人	48,698人	49,330人																																							
合計	115,737人	128,652人	127,273人	125,913人																																							
成 果 指定管理者による施設管理運営を行い、スポーツ・文化等の交流活動のさらなる普及振興を図り、利便性の向上に努めた結果、12万人を超える利用があった。																																											
成果に係る評価 スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、指定管理者による施設管理運営事業を実施し、安心・安全で快適な施設の提供、利用者の利便性向上を実現し、順調な運営がなされているので、事業を継続する必要がある。																																											
（単位：円）																																											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																						
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	90,331,000		90,331,000					90,331,000																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																																												
	6 項	社会教育費		第 節			()																																												
	11 目	遊楽館費		()			()																																												
実施計画掲載ページ			中 事 業	遊楽館管理費																																															
事業コード			事 業 名	遊楽館管理運営事業																																															
目的及び事業内容			スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																
取組実績			<p>1 指定管理者による施設管理運営事業</p> <p>(1) 遊楽館 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 指定管理料 99,498,000円(平成29年度) 指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで</p> <p>(2) 河南室内プール 指定管理者 石巻市体育協会・ミズノグループ 指定管理料 16,374,000円(平成29年度) 指定期間 平成29年4月1日から平成34年3月31日まで</p> <p>2 施設管理運営事業</p> <p>(1) 遊楽館 ア ホームページによる施設予約状況の確認、利用申請書類やホール平面図等の閲覧により、施設情報へのアクセスの利便性を向上させ、利用者のサービス向上を図った。 イ 施設利用報告書に要望等の記入欄を設け、市民のニーズを運営に反映させるよう努めた。 ウ 職員の緊急配備・連絡体制を確立することで、勤務時間内外を問わず即座に施設の状況を確認、及び関係機関へ連絡が取れるようになり、安心・安全な施設運営を図った。</p> <p>(2) 河南室内プール ア スクール事業の実施など自主事業の宣伝告知に努め、より良いサービスの提供を実施した。 イ 様々な運動プログラムを提供し、利用者のニーズに見合ったかたちで健康増進を図った。</p> <p>3 指定管理開始以降の利用者の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">遊楽館</td> <td>ホール(楽屋・リハーサル室含む)</td> <td>27,626人</td> <td>30,328人</td> <td>24,460人</td> <td>32,846人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>24,710人</td> <td>28,410人</td> <td>32,065人</td> <td>23,070人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>5,591人</td> <td>5,849人</td> <td>6,278人</td> <td>6,425人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>26,120人</td> <td>24,322人</td> <td>22,721人</td> <td>22,115人</td> </tr> <tr> <td>その他(調理室・多目的室等)</td> <td>7,441人</td> <td>9,374人</td> <td>10,514人</td> <td>8,007人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>91,488人</td> <td>98,283人</td> <td>96,038人</td> <td>92,463人</td> </tr> <tr> <td>河南室内プール</td> <td>プール</td> <td>28,176人</td> <td>30,358人</td> <td>33,427人</td> <td>33,819人</td> </tr> </tbody> </table>						施設名	区 分	H26	H27	H28	H29	遊楽館	ホール(楽屋・リハーサル室含む)	27,626人	30,328人	24,460人	32,846人	アリーナ	24,710人	28,410人	32,065人	23,070人	トレーニング室	5,591人	5,849人	6,278人	6,425人	会議室・和室	26,120人	24,322人	22,721人	22,115人	その他(調理室・多目的室等)	7,441人	9,374人	10,514人	8,007人	合計	91,488人	98,283人	96,038人	92,463人	河南室内プール	プール	28,176人	30,358人	33,427人	33,819人
施設名	区 分	H26	H27	H28	H29																																														
遊楽館	ホール(楽屋・リハーサル室含む)	27,626人	30,328人	24,460人	32,846人																																														
	アリーナ	24,710人	28,410人	32,065人	23,070人																																														
	トレーニング室	5,591人	5,849人	6,278人	6,425人																																														
	会議室・和室	26,120人	24,322人	22,721人	22,115人																																														
	その他(調理室・多目的室等)	7,441人	9,374人	10,514人	8,007人																																														
	合計	91,488人	98,283人	96,038人	92,463人																																														
河南室内プール	プール	28,176人	30,358人	33,427人	33,819人																																														
成 果			指定管理者による施設管理運営を行うことにより、市民のニーズを反映させた運営を実現し、利用者の利便性の向上に努めた結果、遊楽館で9万人を越える利用があり、河南室内プールでは3万人を超える利用があった。																																																
成果に係る評価			スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興、市民の健全な発達と福祉の増進を図るために、指定管理者による施設管理運営事業を実施し、利用者のニーズを反映させた施設運営を行うとともに、効率性および利便性の向上を実現しているため、事業を継続する必要がある。																																																
(単位:円)																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	115,872,000	115,872,000				115,872,000																																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	()																			
	6 項	社会教育費		第 節			()																			
	11 目	遊楽館費		()			()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	かなんパークゴルフ場運営費																						
事業コード			事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業																						
目的及び事業内容			市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさとふれあいの場を提供し、体力向上や健康増進を図るとともに、利便性向上に資するため指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																							
取組実績			<p>1 年間利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> <th>開館日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>32,338人</td> <td>231日</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>44,227人</td> <td>271日</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>49,944人</td> <td>286日</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52,970人</td> <td>287日</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>46,033人</td> <td>271日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※芝張替えのため約2ヶ月休館</p> <p>2 指定管理者による管理運営</p> <p>(1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク 代表取締役 齋藤 正敏 石巻市北村字金堂-12</p> <p>(2) 指定期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>(3) 指定管理料 11,895,000円(平成29年度)</p> <p>(4) 実施事業 ア 初心者への指導、講習会(随時) イ 各種大会の開催 ウ 快適なゴルフ場を目指すための施設整備(芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理)</p> <p>3 公益社団法人日本パークゴルフ協会負担金 (1) 日本パークゴルフ協会年会費 10,000円 (2) 公認コース更新手数料 35,489円(5年毎)</p>						年度	利用人数	開館日数	H25	32,338人	231日	H26	44,227人	271日	H27	49,944人	286日	H28	52,970人	287日	H29	46,033人	271日
年度	利用人数	開館日数																								
H25	32,338人	231日																								
H26	44,227人	271日																								
H27	49,944人	286日																								
H28	52,970人	287日																								
H29	46,033人	271日																								
成 果			平成29年度の利用者数は、自主事業の講習会及び各種大会の開催したものの、天候不良が長期間続いたことにより利用者数が伸び悩み、前年比6,937人減の46,033人となった。天候不良のため利用者数は減少したが、ニーズの変化に柔軟に対応し、隅々まで目の行き届いたサービスを提供できた。また、利用者目線を活かしたサービスの拡充を図るため、アンケート調査を実施し、軽食の販売や、食堂のメニューの見直しを行うなど、具体的にニーズを反映させることができた。																							
成果に係る評価			指定管理者の自主事業として開催している初心者講習や各種大会などの競技者意識の高揚を図る事業を実施するとともに、スポーツに関する情報を多数発信することで、利用者の利便性向上が図られパークゴルフに親しむ機会を提供できた。																							
(単位:円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	11,946,000	11,940,489				11,940,489																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	6 項	社会教育費				(1)	未来の人を育てる																										
	13 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																										
実施計画掲載ページ		P206	中 事 業	震災復興芸術文化事業費																													
事業コード	004-101-004-00514	事 業 名	文化芸術事業																														
目的及び事業内容	被災者や一般市民を対象とした復興支援コンサートや、市外への移動鑑賞ツアー、学校等へのアウトリーチ事業を実施し、文化芸術鑑賞を提供することにより震災によって傷ついた人々の心を癒し、元気づけ復興に向けた意欲を生み出す。																																
取 組 実 績	<p>文化芸術事業に関するノウハウを有する、石巻市芸術文化振興財団に事業を委託し実施した。</p> <p>1 被災者を対象とした芸術鑑賞事業 (1) 仮設住宅集会所及び小ホールを利用した事業 7件 7回 1,225人参加</p> <p>2 被災者を対象とした文化芸術参加型事業 (1) 仮設住宅集会所及び市内の公民館等を利用した事業 8件 11回 412人参加</p> <p>3 被災児童生徒を対象とした文化芸術事業 (1) 被災した小中学校及び幼稚園等を対象とした事業（アウトリーチ） 3件 9回 853人参加</p> <p>4 一般市民を対象とした復興をテーマとした文化芸術事業 (1) 市内の体育施設等を利用した大型事業 3件 3回 3,217人参加 (2) 市内の小ホール等を利用した事業 5件 5回 1,449人参加 (3) 市外への移動鑑賞ツアー 2件 2回 80人参加 (4) 小中高等学校等でのアウトリーチ事業 5件 11回 720人参加 合計 33件 48回 7,956人参加</p>																																
成 果	<p>被災者及び一般市民の文化芸術に接する機会を提供することができた。</p> <p>事業の実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>50回</td> <td>59回</td> <td>118.0%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>50回</td> <td>50回</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50回</td> <td>68回</td> <td>136.0%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>50回</td> <td>56回</td> <td>112.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>50回</td> <td>48回</td> <td>96.0%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率	目標値	実績等	H25	50回	59回	118.0%	H26	50回	50回	100.0%	H27	50回	68回	136.0%	H28	50回	56回	112.0%	H29	50回	48回	96.0%
区分	成果指標		達成率																														
	目標値	実績等																															
H25	50回	59回	118.0%																														
H26	50回	50回	100.0%																														
H27	50回	68回	136.0%																														
H28	50回	56回	112.0%																														
H29	50回	48回	96.0%																														
成果に係る評価	文化芸術活動の拠点施設が被災し使用できない施設もある状況ではあるが、市内のホールや体育施設等を利用した大型事業、市外への移動鑑賞ツアーをはじめ応急仮設住宅の集会場等での芸術文化事業を実施できた。事業目標の達成率は96%であったが、これは仮設住宅の集約による実施回数の減少に伴うもので、復興が進んでいると捉えられるが、文化芸術によりさらに復興を後押しできるよう、今後も継続的な取り組みが必要である。																																
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	14,040,000	14,040,000				14,040,000																											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																						
	6 項	社会教育費				(1)	未来の人を育てる																																						
	13 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																						
実施計画掲載ページ		P206	中 事 業	震災復興芸術文化事業費																																									
事業コード	004-101-004-00515	事 業 名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業〔復興基金〕																																										
目的及び事業内容	芸術文化の推進には、市民団体である文化協会と行政が協働して推進することが重要であり、その活動に補助を行い、運営を支援することで地域の芸術文化の発展を助長するとともに、地域文化の振興と向上に寄与する。																																												
取 組 実 績	<p>1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的のため設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流 (4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。</p> <p>2 石巻市文化協会の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>161団体</td> <td>3,631人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 平成29年会員現況（平成29年4月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> <th>地区</th> <th>団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻文化協会</td> <td>56団体</td> <td>2,474人</td> <td>河北文化協会</td> <td>29団体</td> <td>266人</td> </tr> <tr> <td>雄勝文化協会</td> <td>9団体</td> <td>95人</td> <td>河南文化協会</td> <td>29団体</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>桃生文化協会</td> <td>24団体</td> <td>356人</td> <td>北上文化協会</td> <td>9団体</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿文化協会</td> <td>5団体</td> <td>84人</td> <td>計</td> <td>161団体</td> <td>3,631人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 事業 第24回サン・ファン祭り 平成29年5月28日 第10回石巻市合同文化祭（舞台の部） 平成29年6月11日 第33回石巻市美術展（協賛） 平成29年10月1日～9日 第21回みやぎ県民文化祭（主管：栗原市） 平成29年10月21日～22日 第10回石巻市合同文化祭（展示の部） 平成29年11月3日～4日 第38回宮城県文連運営研修会（主管：仙台市）平成29年12月6日～7日 【その他】石巻市国際交流協会、石巻市観光協会、FMラジオ石巻「日高見レポート」石巻市複合文化施設関連団体、会員団体主催事業への後援等の協力・協賛</p> <p>5 東日本大震災復興支援交流事業（支援／協賛：石巻市文化協会） 復興支援 第53回市民合唱祭 平成29年10月29日 復興支援 相馬市エスポワール合唱団演奏会 平成29年12月3日 石巻市東日本大震災7周年追悼式式典参加 平成30年3月11日 復興支援 和光3・11を忘れないコンサート 平成30年3月11日</p>							名称	設立年月日	加盟団体数	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	161団体	3,631人	地区	団体数	会員数	地区	団体数	会員数	石巻文化協会	56団体	2,474人	河北文化協会	29団体	266人	雄勝文化協会	9団体	95人	河南文化協会	29団体	300人	桃生文化協会	24団体	356人	北上文化協会	9団体	56人	牡鹿文化協会	5団体	84人	計	161団体	3,631人
名称	設立年月日	加盟団体数	会員数																																										
石巻市文化協会	平成17年6月18日	161団体	3,631人																																										
地区	団体数	会員数	地区	団体数	会員数																																								
石巻文化協会	56団体	2,474人	河北文化協会	29団体	266人																																								
雄勝文化協会	9団体	95人	河南文化協会	29団体	300人																																								
桃生文化協会	24団体	356人	北上文化協会	9団体	56人																																								
牡鹿文化協会	5団体	84人	計	161団体	3,631人																																								
成 果	石巻市文化協会の運営を支援することで、地域における芸術文化の発展を推進し、その普及振興に寄与することができた。また、石巻市内外の芸術文化団体相互の交流を図ることで、芸術文化を生かした街づくりを促進した。																																												
成果に係る評価	市民による文化芸術活動の推進を図るために、石巻市文化協会の運営の支援を実施し、地域文化の振興と向上に寄与することができた。特に、復興支援の一環で県内外の団体と交流事業を展開できたことは大きい。しかし一方では、各文化協会の会員減少といった問題も生じている。この課題を克服し、文化団体の公演・催事等の活動を拡大するとともに、県内外の団体との交流事業を展開していくためにはより一層市民の文化芸術活動を推進していくことが求められるので、事業を継続し支援していく必要がある。																																												
(単位：円)																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	1,645,000	1,645,000				1,645,000																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費				(1)	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費				(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P206	中 事 業	齋藤氏庭園修復整備事業費			
事業コード		004-101-003-00510	事 業 名	国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業			
目的及び事業内容		国指定名勝として永く保存活用を図るために、宮城県北部連続地震及び東日本大震災によって損傷した庭園・建物の復旧事業を実施する。					
取 組 実 績		<p>齋藤氏庭園保存修理工事を実施した。</p> <p>1 前土蔵・後土蔵に関する工事 (1)半壊体修理（木工事、屋根工事、左官工事、雑工事）</p> <p>2 住宅に関する工事 (1)屋根解体工事 (2)屋根瓦調査 (3)木軸部の建起こし</p> <p>3 味噌蔵に関する工事 (1)屋根解体工事 (2)屋根瓦調査 (3)木軸部の建起こし</p>					
成 果		平成29年度は前年度に引き続き、前土蔵・後土蔵の解体修復工事を実施した。今年度は工事の一環として土蔵の土壁塗を実施した。 また、住宅及び味噌蔵に関しては、前年度までに行った屋根解体工事を継続し、屋根瓦の状況確認調査を実施した。屋根瓦の1点1点の状態を確認し、再利用可能な瓦は洗浄・保管処理を行い、再生不可能な瓦については不足分の製作を依頼した。加えて、住宅及び味噌蔵の傾きを調整し、住宅は床板の復旧を行っている。					
成果に係る評価		国指定名勝齋藤氏庭園の長期にわたる保存活用を図るために、前土蔵・後土蔵の半解体工事及び住宅・味噌蔵の屋根解体工事を実施し、復旧事業を進めることができた。工事の過程では建物の劣化状況や被害状況を記録しながら進めており、今回の工事で得たデータを今後の活用計画に生かすことで、より長期的な保存活用を実現できるものと考えている。 また、一連の工事は、今年度のみで完結するのではなく、前年度までの作業を引き継ぎながら平成32年度まで計画的に実施していく必要がある。この事業の目的は、国指定名勝を長期にわたって保存活用することにあるので、文化財としての価値を十分に考慮した計画的な復旧事業を、今後も継続する必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	73,810,079	73,629,679	51,540,000				22,089,679

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費				(1)	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費				(2)	社会教育施設・社会体育施設の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P205	中 事 業	複合文化施設整備事業費			
事業コード		004-101-002-00509	事 業 名	複合文化施設整備事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し解体した石巻文化センターと石巻市民会館の再建に当たり、博物館機能と文化ホール機能を併せ持つ複合文化施設として建設し、石巻市の芸術文化活動の拠点整備を図る。					
取 組 実 績		基本設計・展示基本設計終了後、実施設計・展示実施設計に着手した。 基本設計をワークショップにおいて報告。また、市民懇談会による先進地視察を実施した。					
成 果		平成26年6月に基本構想を策定、平成28年3月に石巻市複合文化施設整備基本計画を策定した。 平成28年度は、設計者及び展示設計者を選定するに当たり、企画・提案型のプロポーザル方式を採用し、優れた業者を選定できた。また、住民参加型のワークショップを開催し討議した結果、基本設計に利用者の意見を取り入れることができた。 平成29年度は、基本設計をワークショップに報告することにより、市民の理解を得、新たな意見・要望等は可能な限り実施設計に反映することとした。また、市民懇談会委員による先進地視察（白河市コミネス）を実施し、施設の仕様、管理運営の実態、施設利用の方法等理解が深められた。					
成果に係る評価		建設スケジュールに合わせ、平成32年度中にオープンできるようスムーズな事業進行が必要である。 実施設計の完成に合わせ、市民懇談会及びワークショップの開催を予定している。 完成後の管理・運営について、コンサルタントに委託する支援業務において、市民参加の組織で検討の上、管理運営計画を策定する。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	214,965,301	212,072,266		98,600,000	111,569,800		1,902,466

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	()	
	7 項	保健体育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		()	
	1 4 目	保健体育総務費 体育館費		(2)	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		()	
実施計画掲載ページ		P110	中 事 業	体育奨励費、体育館管理費				
事業コード	005-004-002-00268	事 業 名	スポーツ振興事業					
目的及び事業内容 市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、いしのまき復興マラソン、いしのまき市民スポーツフェスタ、石巻市小学生リレーマラソン大会、いしのまきキッズ交流大会、キッズパラエティスポーツ教室、体育館スポーツ教室を実施している。								
取 組 実 績	1 いしのまき復興マラソン 全国に向けて復興した石巻市の姿を発信するために、第3回いしのまき復興マラソンを開催した。石巻専修大学を会場に、年齢、性別などに応じて、2k・3k・5k・10k・ハーフで18種目を実施した。							
	2 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通し、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。なお、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施した。							
	3 石巻市小学生リレーマラソン大会・いしのまきキッズ交流大会 市民の一体感を醸成する事業の一環として、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施するもので、スポーツを通じた青少年の健全育成、子ども達の体力・運動能力の向上を目指し、平成24年度よりNPO法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」でいしのまきキッズ交流大会と合体して実施しており、更に市民スポーツ参加の一翼を担った。							
	4 キッズパラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたら良いのかわからないという子どもたちに対して、多種目のスポーツ体験の場を提供するため、平成24年度よりNPO法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施している。子どもたちが自分に合った種目を見つけ出すことで、スポーツに取組む機会の創出を図った。							
	5 体育館スポーツ教室 総合体育館で一般市民を対象にバドミントン・卓球教室を、NPO法人石巻市体育協会への委託事業として平成25年度より「協働」で実施している。楽しみながら基本的な技術を習得し、運動する喜びを感じて心身ともに健康な体づくりを目指し、受講生相互のコミュニティが形成された。							
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・一大イベントであるいしのまき復興マラソンを継続して開催できた。 ・小学生リレーマラソン大会といしのまきキッズ交流大会を合同開催として実施した。 ・キッズパラエティスポーツ教室は昨年度同様、12種類のスポーツを2回ずつ行った。 							
	年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン・いしのまきキッズ交流	キッズパラエティ	体育館教室	計
H27	参加者数	3,631人	112人	263人	1,173人	1,136人	6,315人	
H28		1,717人	193人	324人	1,191人	2,089人	5,514人	
H29		1,522人	73人	353人	1,382人	1,399人	4,729人	
成果に係る評価 いしのまき復興マラソンは、スポーツ振興事業の目玉と位置付け、震災時に寄せられた多くのご支援への感謝と復興状況を全国に伝えるべく実施している。平成29年度においては、地場産品のわかめうどん無料配布コーナーや復興パネル展、更には北限のオリーブ冠の贈呈などで県外参加者へPRを行った。今後も内容の充実化を図るため、実行委員会との協議を密にしながら、一層の工夫が必要である。また、各種スポーツ事業については、公園等への仮設住宅の立地により、依然として運動を行える場所が限られており、環境整備が急務である。今後とも、NPO法人石巻市体育協会との協働体制を継続しつつ、行政主導から民間主導への移行を図るとともに、「成人のスポーツ実施率の向上」や「子供たちの体力と運動能力の向上」を目標に掲げ、本市の復興状況と照らし合わせながら、多くの市民が参加しやすい環境の整備や参加意識の向上に努めたい。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,214,000	4,214,000				4,214,000		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		()	
	3 目	学校給食費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P23	中 事 業	学校給食センター運営費、賄材料費				
事業コード	002-001-002-00243	事 業 名	学校給食センター運営事業					
目的及び事業内容 児童・生徒に豊かで栄養バランスのとれた食事を提供し、心身の健全な育成に資する。学校給食を通じて望ましい食生活習慣の基盤形成を促すとともに、会食をととして豊かな人間関係を育成する。地場産物を使い地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育てる。								
取 組 実 績	学校給食実施状況(平成30年1月1日現在)							
	区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率		
	小学校	34校	6,569人	完全給食	共同調理場方式	100%		
中学校	19校	3,759人	完全給食	共同調理場方式	100%			
幼稚園	2園	125人	完全給食	共同調理場方式	100%			
成 果	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校給食を通じて、児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供することができた。 2 学校給食に地場産物を活用し、また、地域の郷土食や行事食を提供することができた。特に伝統的地域特性を生かしたものは、鯨肉を使用した給食を提供することができた。 3 平成30年2月に石巻西学校給食センターの解体が完了し、平成30年3月に東松島市へ整地した土地の返還が完了した。 4 給食費の未納対策に関し、分割による納付誓約の不履行者について、家庭訪問や電話連絡による督促を実施し、納付計画に滞りのないよう努めた。 							
	年度	現年度分			過年度分			
H28	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額		
H29	20校	53人	1,480,345円	33校	311人	27,752,146円		
比較増減	0校	0人	243,039円	4校	13人	363,756円		
※滞納者数は保護者の人数								
成果に係る評価 「生きた教材」として毎日の給食を提供することは、望ましい食習慣を身に付けさせることの助一助となっている。また、地元の食材や郷土食等を提供することにより、地域の産業や伝統・文化に対する理解と関心を深めることができた。石巻西学校給食センターの施設数地借用に係る土地の返還については、東松島市と締結している協定書に基づき、遅延することなく期限内に返還することができた。給食費の未納対策に関し、過年度分については、家庭訪問等で滞納者へ接触する機会をより多くし、納付相談・指導を行ったが、対象者を限定しての対応であり、滞納者全体への対応が出来ていないのが現状となっているため、取り組みの強化が必要となっている。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,004,996,000	975,295,807				98,400,000	533,335,178	343,560,629